

設 計 書

東町市営住宅外壁外改修工事(三期工事)

場 所 鹿沼市東町1丁目
工 期 令和9年3月5日 まで

設 計 概 要

3号棟 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積 1056.85㎡

3号棟自転車置場 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延べ面積 21.12㎡

ポンプ室 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延べ面積 8.64㎡

外壁改修工事、防水改修工事 一式

プロパン庫 補強コンクリートブロック造 平屋建て 延べ面積 13.78㎡

解体工事 一式

外構工事 一式

検算者

担当者

鹿 沼 市 役 所

(甲-1)

設 計 書

設計金額

内訳

工事価格

消費税相当額

変更前回実施

変 更 今 回

設
計
額

工 事 価 格

消 費 税

請 負 工 事 費

請
負
額

請 負 価 格

消 費 税

請 負 代 金

請 負 率

設
計
額

工 事 価 格

消 費 税

請 負 工 事 費

請
負
額

請 負 価 格

消 費 税

請 負 代 金

増減額

変更理由

鹿 沼 市 役 所

(甲-2)

工事費内訳

2

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

共通仮設費(積上) 明細

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員		1	式			
ガードフェンス (3号棟)		1	式			
ガードフェンス (プロパ ン庫)		1	式			
ハイロン区画 (3号棟 自転車置場)		1	式			
ハイロン区画 (ホンプ 室)		1	式			
ヘビークインチ		1	式			
計						

工事種別内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
建築工事		1	式		
建築工事に伴う電気設備工事		1	式		
解体工事		1	式		
計					

建築工事 種目別内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
3号棟		1	式		
3号棟自転車置場		1	式		
ポンプ室		1	式		
プロハン庫		1	式		
外構		1	式		
発生材処理		1	式		
計					

建築工事に伴う電気設備工事 種目別内訳

6

[illegible]

解体工事 種目別内訳

7

[illegible]

3 号棟									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設工事		1		式					
防水改修工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
塗装改修工事		1		式					
環境配慮改修工事		1		式					
雑工事		1		式					
計									

建築工事 科目別内訳

3号棟自転車置場									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設工事		1		式					
防水改修工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
計									

ポンプ室

名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設工事		1			式				
防水改修工事		1			式				
外壁改修工事		1			式				
建具改修工事		1			式				
塗装改修工事		1			式				
	計								

建築工事 科目別内訳

11

[illegible]

[illegible]

発生材処理									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
発生材処理		1		式					
計									

建築工事に伴う電気設備工事 科目別内訳

14

[illegible]

プロパン庫					
名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
プロパン庫		1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

16

3号棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事		1	式		
計					
外壁改修工事		1	式		
計					
塗装改修工事		1	式		
計					
環境配慮改修工事		1	式		
計					
雑工事		1	式		
計					

3号棟自転車置場					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事		1	式		
計					
外壁改修工事		1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

18

ポンプ室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事		1	式		
計					
外壁改修工事		1	式		
計					
建具改修工事		1	式		
計					
塗装改修工事		1	式		
計					

ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ庫					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事		1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					
環境配慮改修工事		1	式		
計					

外構					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
舗装工事		1	式		
計					
縁石工事		1	式		
計					
植栽工事		1	式		
計					

[illegible]

電気設備					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					
撤去工事	電灯分岐撤去	1	式		
計					

解体工事 中科目別内訳

プロパン庫					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
プロパン庫	解体工事	1	式		
計					

建築工事 細目別内訳

24

3号棟 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	建枠 900 高さ20m未満 掛払い手間 供用90日賃料 基本 料 修理費 運搬費共 1554㎡程度	1	式			
安全手すり	くさび式 手すり先行足場用 掛払い手間 供用90日賃料 基本 料 修理費 運搬費共 97m程度	1	式			
小幅ネット	防災ポリエステル 掛払い手間 供用80日賃料 基本料 修理費 運搬費共 388m程度	1	式			
単管本足場	10m未満 掛払い手間 供用90日賃料 基本料 修理費 運搬費共 32.3㎡程度	1	式			
安全手すり	単管本足場用 掛払い手間 供用90日賃料 基本料 修理費 運搬費共 8.3m程度	1	式			
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間 供用30日賃料 基本料 修理費 運搬費共 184㎡程度	1	式			
ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間 供用80日賃料 基本料 修理費 運搬費共 1219㎡程度	1	式			
養生(外壁改修)	170㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (外壁改修)	170㎡程度	1	式			
養生 (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 233㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 233㎡程度	1	式			
養生(階段室)	階段室塗装改修 86.4㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (階段室)	階段室塗装改修 86.4㎡程度	1	式			
養生防護棚	掛払い手間 供用80日賃料 基本料 修理費 運搬費共	1	式			
計						

3号棟 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング撤去	集積共	1,437	m			
シーリング 笠木端部・シヨイント	15w×10d 変成シリコン系MS-2	5.7	m			
シーリング 釘頭	10w×10d 変成シリコン系MS-2	3.7	m			
シーリング 屋根端部入隅	15w×15d 変成シリコン系MS-2	0.8	m			
シーリング ボルト	10w×10d 換算数量 変成シリコン系MS-2	1	m			
シーリング 架台	10w×10d ポリウレタン系(PU-2)	2.8	m			
シーリング 押え金物	10w×10d 変成シリコン系MS-2	67.9	m			
シーリング 壁押え金物	10w×10d 変成シリコン系MS-2	20.1	m			
シーリング ハッチ	15w×10d ポリウレタン系(PU-2)	8.2	m			
シーリング サッシ上横・水切下・ 庇上横下	15w×10d 変成シリコン系MS-2	572	m			
シーリング サッシ下	10w×10d 変成シリコン系MS-2	122	m			
シーリング 打継ぎ	20w×10d ポリウレタン系PU-2	221	m			
シーリング ダクト-壁・フット-壁・ 換気パイプ・通気口	変成シリコン系MS-2	59.3	m			
シーリング 防水上	10w×10d ポリウレタン系(PU-2)	75.7	m			
シーリング タイル廻り	10w×10d ポリサルファイト系PS-2	12.8	m			

3号棟 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング 玄関扉枠・PS扉枠・ 点検口扉枠	10w×10d 変成シリコン系MS-2	154	m			
シーリング 壁-笠木・笠木-笠 木支柱	10w×10d 変成シリコン系MS-2	32.6	m			
シーリング シート防水端部(アルミ 笠木下)	10w×10d 変成シリコン系MS-2	74.6	m			
鋳鉄製ルーフトレイン 100φストレーナー撤去	モルタル修正共	7	か所			
改修用ルーフトレイン10 0φ用		7	か所			
アルミ笠木取外し 再取付		86.4	か所			
屋根マンホール 一時取外し	ステンレス 600角 枠・蓋	1	か所			
屋根マンホール 再取付	ステンレス 600角 枠・蓋 アンカーボルト周囲 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	1	か所			
軒先唐草・雨押え 撤去再取付		79	m			
壁押え金物・押え 金物撤去	集積共	88	m			
壁押え金物 直線 部		16.5	m			
壁押え金物 直角 コーナー		8	か所			
押え金物 直線部		65.5	m			
押え金物 直角コ ーナー		4	か所			
既存防水層撤去 庇平場・立上り	屋上防水層 シート防水層 集積共	161	m ²			

3号棟 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クレン・清掃 庇平場・立上りシート防水下地	全面デッキブラシがけ	161	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	161	m ²			
庇平場塩化ビニル樹脂系シート防水2t 保護塗料	接着工法 保護塗料:塩ビシート用アクリルウレタン系2液 硬化型保護塗料	88.2	m ²			
庇立上り塩化ビニル樹脂系シート防水2t 保護塗料	接着工法 保護塗料:塩ビシート用アクリルウレタン系2液 硬化型保護塗料	72.6	m ²			
ベランダ平場・立上り 既存塗膜防水高圧水洗	15MPa程度	187	m ²			
ベランダ平場ウレタン塗膜防水塗替え	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 仕上塗料塗り	127	m ²			
ベランダ立上りウレタン塗膜防水塗替え	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 仕上塗料塗り	59.4	m ²			
鋳鉄製中継ルーフトレイン100φストレーナー撤去再取付	錆落とし 防錆塗装塗替え共	12	か所			
鋳鉄製ルーフトレイン65φストレーナー撤去再取付	錆落とし 防錆塗装塗替え共	12	か所			
アルミ製笠木180w付 手摺撤去再取付		125	m			
テレビアンテナ架台高圧水洗	15MPa程度	1.4	m ²			
下地調整 テレビアンテナ架台立上り	ポリマーセメントペースト	1.4	m ²			
ウレタン塗膜防水 テレビアンテナ架台	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 仕上塗料塗り	1.4	m ²			
階段室排水溝高圧水洗	15MPa程度	4.3	m ²			
下地調整 階段室排水溝 ウレタン塗膜防水下地	ポリマーセメントペースト	4.3	m ²			

[illegible]

3号棟 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査	タイル・モルタル塗替改修	135	m ²			
施工数量調査	打放し面・仕上塗材改修	1,395	m ²			
ひび割れ補修（幅0.2mm以上）	Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填+珪砂散布	79	m			
浮き補修	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 （一般）ピン16本/m ² , 25ml/箇所	7.7	m ²			
アルミ手摺撤去再取付	2000×900	16	か所			
既存塗膜除去	剥離剤手ケレン	492	m ²			
外壁高圧水洗	15MPa程度	1,529	m ²			
アルカリ付与	菊水化学工業BR-B同等	492	m ²			
中性化抑制兼下地調整	菊水化学工業BR-AD同等	492	m ²			
可とう形改修塗材CE	さざなみ状（ローラー） 上塗材：1液水系無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【耐候形1種相当】 菊水化学工業同等	891	m ²			
可とう形改修塗材CE	さざなみ状（ローラー） 上塗材：1液水系高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料【耐候形1種】 菊水化学工業同等	205	m ²			
下塗材	ガチオン形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材（浸透形） 菊水化学工業同等	329	m ²			
軒天塗替え用アクリルシリコン樹脂仕上塗材	菊水化学工業同等	329	m ²			
基礎巾木用塗装	着色ポリマーセメント系塗材同等	74.7	m ²			
計						

3号棟 塗装改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根面下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	299	m ²			
ふっ素樹脂系屋根 用遮熱塗料塗替え	錆止め塗料補修塗り・下塗り・上塗り 共	299	m ²			
SOP塗り 改修仕様 (排水管・通気管)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料As種(鉛・クマリ)-1種) 下地RB種(塗替え面)	12.8	m ²			
SOP塗り 改修仕様 (堅樋・窓庇)	亜鉛めっき鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	30.5	m ²			
SOP塗り 改修仕様 (扉類)	鋼製建具面 工程A種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	48	m ²			
計						

3号棟 環境配慮改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ベランダ 隔板撤去	厚5.0 石綿セメント板 (既存アルミ枠利用)	12	か所			
ベランダ 隔板新設	厚5.0 ケイカル板 両面EP塗装品 枠・周囲押しピン 既存利用	12	か所			
避難案内ステッカー	400×150程度 黄色下地 赤黒文字	12	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

32

3号棟 雑工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ製丸形パイプフード撤去	ガラリ付 100φ 150φ	48	か所			
深型フード	換気扇(便所・UB) アルミ 100φ 粉体焼付塗装 ホワイト水切 縦ギヤリ 網目5メッシュ	32	か所			
深型フード	台所換気扇 アルミ 150φ 粉体焼付塗装 ホワイト水切 縦ギヤリ 網目5メッシュ	16	か所			
避難ハッチ 交換工事	埋設式ステンレス製避難はしご(中枠は除く) 階高2750 撤去新設 運搬費共	3	か所			
避難ハッチ 消防申請及び立会検査費	3号棟分	1	式			
たてどい撤去	鋼管 集積共	48.7	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径100	48.7	m			
トルコ通気弁	屋外設置用 75A 既存配管切断及び新規VP管接続 材工共	4	か所			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

鹿 沼 市 役 所 (乙)

3号棟自転車置場 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査	打放し面・仕上塗材改修	131	m ²			
ひび割れ補修（幅0.2mm以上）	Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填+珪砂散布	6.5	m			
外壁高圧水洗	15MPa程度	92.9	m ²			
可とう形改修塗材CE	さざなみ状（ローラー） 上塗材：1液水系無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【耐候形1種相当】 菊水化学工業同等	64.3	m ²			
下塗材	カチオン形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材（浸透形） 菊水化学工業同等	28.7	m ²			
軒天塗替え用アクリルシリコン樹脂仕上塗材	菊水化学工業同等	28.7	m ²			
基礎巾木用塗装	着色ポリマーセメント系塗材同等	0.5	m ²			
SOP塗り（糸幅300mm以下） 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A（鉛・クロムフリー1種） 下地RB種（塗替え面）	12.9	m			
計						

建築工事 細目別内訳

36

ポンプ室 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一側足場	高さ10m未満 掛払い手間 賃料 45日 基本料 修理費 運搬費含む 35.2㎡程度	1	式			
安全手すり	一側足場用 掛払い手間 賃料 45日 基本料 修理費 運搬費含む 8.7m程度	1	式			
養生(外壁改修)	25.1㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (外壁改修)	25.1㎡程度	1	式			
養生 (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 12.8㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 12.8㎡程度	1	式			
計						

ポンプ室 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング撤去	集積共	24.8	m			
シーリング 押え金物		0.6	m			
シーリング サッシ上横・ドア枠上横	15w×10d 変成シリコン系MS-2	8.1	m			
シーリング サッシ下・水切下	10w×10d 変成シリコン系MS-2	3.1	m			
シーリング 換気扇	20w×10d 変成シリコン系MS-2	0.9	m			
シーリング 設備管・設備管プレート	変成シリコン系MS-2	0.8	m			
シーリング シート防水端部(アルミ 笠木下)	10w×10d 変成シリコン系MS-2	11.4	m			
アルミ製笠木150w撤 去再取付		11.3	m			
押え金物撤去	集積共	0.6	m			
押え金物 直線部		0.6	m			
押えプレート撤去	集積共	3.8	m			
押えプレート		3.8	m			
屋根庇平場・立上 りシート防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	16.6	m ²			
屋根庇平場・立上 りシート防水下地クレン 及び清掃		16.6	m ²			
屋根庇平場シート防 水下地平滑処理	ポリマーセメントペースト	12.8	m ²			

[illegible]

建築工事 細目別内訳

39

ポンプ室 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査	打放し面・仕上塗材改修	40.8	m ²			
フェンス撤去再取付	1200W	1	式			
既存塗膜除去	剥離剤手ケレン	37.6	m ²			
外壁高圧水洗	15MPa程度	37.6	m ²			
アルカリ付与	菊水化学工業BR-B同等	37.6	m ²			
中性化抑制兼下地調整	菊水化学工業BR-AD同等	37.6	m ²			
可とう形改修塗材CE	さざなみ状(ローラー) 上塗材:1液水系無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【耐候形1種相当】 菊水化学工業同等	33.2	m ²			
下塗材	かきわん形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材(浸透形) 菊水化学工業同等	4.4	m ²			
軒天塗替え用アクリルシリコン樹脂仕上塗材	菊水化学工業同等	4.4	m ²			
基礎巾木用塗装	着色ポリマーセメント系塗材同等	3.19	m ²			
計						

ポンプ室 建具改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
割れ網入り型板ガラス6.8t シーリング撤去	集積共 ガラス0.4㎡程度 シーリング 5.2m程度	1	式			
網入り型板ガラス6.8t シーリング	ガラス0.4㎡程度 清掃共	1	式			
計						

ポンプ室 塗装改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
SOP塗り 改修仕様	鋼製建具面 工程A種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	5.6	m ²			
計						

直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単管一本足場	10m未満 掛払い手間 供用30日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 29㎡程度	1	式			
防音シート張り	掛払い手間 供用30日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 29㎡程度	1	式			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

環境配慮改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根撤去	小波スレート5t 石綿含有建材レベル3 集積共	19.1	m ²			
LPG集合装置ハッキン 撤去	石綿含有建材レベル3 集積共	1	式			
ガス管ハッキン撤去	石綿含有建材レベル3 集積共	1	式			
計						

舗装工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート・アスファルトカッター入れ		3.3	m			
アスファルト撤去	集積共	2.3	m ²			
路床碎石	40～0mm 再生材	1.6	m ³			
敷きならし	締め固め共	1.6	m ³			
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クラッシュラン 特に狭い場所 人力	39.8	m ²			
トラフィックペイント	駐車枠・セパレーション・駐車番号	1	式			
土工機械運搬	根切り、埋戻し、敷均し	1	式			
計						

鹿沼市役所 (乙)

外構 植栽工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
樹木・植栽 伐採抜根	幹周15cm未満	36	本			
植栽伐採	幹周15cm未満	30	本			
計						

建築工事 細目別内訳

48

発生材処理		発生材処理		積込・運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込	コンクリート類 アスファルト類 機械	17.7	m3			
発生材積込	樹木類	3.2	m3			
発生材積込	その他 人力	2.7	m3			
発生材積込	アスベスト含有ボード(レベル3)類 人力	0.1	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ1.4m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 2.5km以下	17.8	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 アスファルト類 DID区間有り 2.5km以下	0.1	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 樹木類 DID区間有り 8.0km以下	3.2	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃プラスチック類 DID区間有り 3.5km以下	2.1	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 汚泥 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 混合廃棄物 DID区間有り 2.5km以下	0.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 アスベスト含有ボード(レベル3) DID区間有り	0.2	m3			
発生材運搬	小波スレート5t 石綿含有建材レベル3 0.1m3程度 積込共	1	式			
発生材運搬	LPG集合装置管ハッキン ガス管ハッキン 石綿含有建材レベル3 積込共	1	式			
発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 鉄くず DID区間有り 2.5km以下	0.2	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 ステンレス DID区間有り 2.5km以下	0.01	m3			

鹿 沼 市 役 所 (乙)

建築工事 細目別内訳

50

発生材処理		発生材処理		処分		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
残材処分	コンクリート類	17.6	m3			
残材処分	アスファルト類	0.1	m3			
残材処分	廃プラスチック類	2.1	m3			
残材処分	解体系混合廃棄物	0.3	m3			
残材処分	アスベスト含有ボード(レベル3)	0.2	m3			
残材処分	小波スレート5t 石綿含有建材レベル3 0.1m3程度	1	式			
残材処分	LPG集合装置パッキン ガス管パッキン 石 綿含有建材レベル3	1	式			
残材処分	樹木類	3.2	m3			
舗装版切断汚泥処分費	汚泥比重 1.20～1.10	0.1	m3			
有価材処分	鉄くず	1.6	t			
有価材処分	ステンレス	0.05	t			
有価材処分	アルミ	0.03	t			
有価材処分	銅	2	kg			
計						

電気設備		電灯設備		電灯分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
LED照明器具	F	8	個			
LED照明器具	G	14	個			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

解体工事 細目別内訳

53

[illegible]

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

54

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員		1	式			
交通誘導員		10	人日			
計						
ガードフェンス (3号棟)		1	式			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共 掛払い手間	9.4	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共 供用90日 賃料 修理費含む	9.4	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共 基本料 修理費含む	9.4	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		9.4	m			
計						

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

55

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
カーポートフェンス (プロパン庫)		1	式			
カーポートフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共掛払い手間	70.1	m			
カーポートフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共供用35日賃料 修理費含む	70.1	m			
カーポートフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共基本料 修理費含む	70.1	m			
仮設材運搬 (カーポートフェンス)		70.1	m			
計						
パイロン区画 (3号棟自転車置場)		1	式			
カラーコーン	基本料	14	個			
カラーコーン	60日賃料	14	個			
コーンウェイト	基本料	14	個			
コーンウェイト	60日賃料	14	個			
コーンバーL=2000	基本料	13	本			
コーンバーL=2000	60日賃料	13	本			
計						

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

56

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
パ ^レ イロン区画 (ポンプ室)		1	式			
カラーコーン	基本料	3	個			
カラーコーン	60日 賃料	3	個			
コーンウェイト	基本料	3	個			
コーンウェイト	60日 賃料	3	個			
コーンパ ^レ -L=2000	基本料	2	本			
コーンパ ^レ -L=2000	60日 賃料	2	本			
計						
パ ^レ ビ ^レ -ウインチ		1	式			
仮設機械運転 (トラック)	往復運搬費 普通用 2t積	1	運転日			
パ ^レ ビ ^レ -ウインチ	供用期間60日 賃貸 基本料+日額 吊上げ荷重200kg	1	基			
計						

建 築 工 事 仕 様 書

令和8年5月1日適用

I 共通仕様

1. 工事積算について

本工事の積算は、栃木県県土整備部発行の建築工事積算基準 令和8年4月1日改定(改修建築工事)による。

共通費算出の為の工期は6.1カ月とする。

新設材の加工等により発生するスクラップの控除価格は、一般工事として共通費等を算出する。

撤去および解体により発生する有価物の控除価格は、共通仮設費、現場管理費および一般管理費の対象外として共通費等を算出する。

2. 工事仕様について

設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書(質問回答書含む)に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」により施工するものとする。

最新情報及び改訂版等の管理は適宜行い、内容等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議すること。

3. 下請業者の選定

受注者は、一次下請業者を選定する際、当該建設業者の社会保険等加入状況を確認のうえ、社会保険等に参加している建設業者を選定しなければならない。なお、二次下請以下の建設業者についても、原則、社会保険等に参加している建設業者を選定すること。

4. 成果品の電子納品について

受注者は、「鹿沼市電子納品運用ガイドライン」を遵守のうえ、成果品を電子納品すること。

5. 工事看板の設置基準について

工事看板の設置基準は、以下の URL を参照すること。

○鹿沼市 HP: <https://www.city.kanuma.tochigi.jp/manage/contents/upload/57d9000a825fd.pdf>

6. 提出書類

受注者は、工事資料の作成にあたって別紙の鹿沼市工事資料一覧表を参照すること。

Ⅱ 特記仕様

1. 法定外の労災保険の付保

受注者は、本工事において法定外の労災保険に付さなければならない。法定外の労災保険とは、業務や通勤に起因した労働者の負傷、疾病、障害、死亡などに対して、労働者災害補償保険法(労災保険法)による労災補償給付とは別に、企業が独自の立場から補償給付の上積みを行うための保険をいう。

2. 週休2日制工事

本工事は、「通期の週休2日」に取り組むことを前提とした発注者指定型の営繕工事である。受注者は契約後、「週休2日制工事の実施計画書(様式第1号)」により発注者と協議したうえで週休2日制工事に取り組むこと。

3. 契約保証費について

本工事は、契約保証費を含む。

4. 安全対策と工期について

施工にあたっては近隣及び通行人等安全面に十分注意した工事計画を立て、作業ごとに作業期間や作業手順等を明確にした工程表を作成し承諾を受けること。

また、入居者への負担を軽減するため、監督職員との工程管理協議を密にし極力工期短縮に努めること。

市営住宅入居者が入居しながらの工事となるため安全管理には十分注意すること。

5. 舗装版の切断時に発生する濁水の適正な処理について

本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）」に基づき適正に処理しなければならない。

6. 猛暑による作業不能日数について

本工事では、猛暑による作業不能日数を4日間見込んでいる。

特記仕様書

中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

1. 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」）の調達に必要な経費（以下、「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。
2. 対象とする調達検討資材は、受注者からの「様式 1_調達検討資材に関する協議書」及び「添付 2_工事打合せ簿」による発議に基づき監督職員と協議の上決定するものとする。
3. 代替資材の調達又は流通状況を踏まえた調達経費が別途必要となる調達をせざるを得ない場合には、受注者は、購入する前に「様式 1_調達検討資材に関する協議書」を監督職員に提出し、協議するものとする。
4. 受注者は、別途「様式 2_調達検討資材に関する実施報告書」及び調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

なお、設計変更の対象は以下を想定している。

- ① 調達検討資材の代替資材を調達した場合
- ② 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
- ③ 調達検討資材を調達した場合（別途調達経費を含む）

鹿沼市工事資料一覧表(営繕工事)

※1 1. 提出書類

No.	工 事 資 料 名	1000万円未満	検査資料	1000万円以上	検査資料	備 考
1	施工体系図	△	△	△	△	建24-7、建則14の6
2	施工体制台帳	△	△	△	△	建24-7、建則14の6
3	工事部分下請通知書	○	●	○	●	契9
4	再生資源利用・利促進(実施)書(計画書は施工計画書)、データ※5	○	●	○	●	リサイクル法
5	建設副産物処理承認申請書・同処理調書(産廃処理業者及び収集運搬業者の許可証と契約書写し、処理場等書類と写真添付)	○	●	○	●	特記仕様書
6	設計図書照査表	○	●	○	●	契19
7	実施工程管理図表(月毎及び完成時)	○	●	○	●	標準仕様書、契13
8	総合施工計画書	○※2	●	○	●	標準仕様書
9	工種別施工計画書(施工要領書)	○	●	○	●	標準仕様書
10	工種別施工報告書	○	●	○	●	標準仕様書
11	工事打合せ簿	○	●	○	●	契11の2、11の4
12	工事写真 ※6	○	●	○	●	契16、鹿沼市電子納品ガイドライン
13	材料機器承諾図	○	●	○	●	契15
14	主要資材(及び機器)数量比較調書	○	●	○	●	標準仕様書
15	施工図・見本・カタログ等見本帳	○	●	○	●	標準仕様書
16	工事検査記録	○	●	○	●	標準仕様書
17	工事材料試験検査記録	○	●	○	●	標準仕様書
18	製品の立会い検査願	△	△	△	△	標準仕様書
19	官公署届出書一覧(写し共)	○	●	○	●	標準仕様書
20	竣工図・施工図(製本)	○		○		
21	電子納品成果品(事前協議チェックシート、電子媒体納品書含む)	電子納品の範囲については監督員と協議による				鹿沼市電子納品ガイドライン
22	保全に関する書類(完成図、取扱い説明書、保証書等)	○	●	○	●	
23	その他	監督員が必要と認める資料				
		○:作成資料 ●:検査で確認する資料 △:該当する場合に作成する資料(検査で確認)				

※1 提出書類とは、施工に伴い作成する資料であって、完成時には現場とともに引き渡す書類である。

※2 1000万未満の総合施工計画書に記載する事項

- 1 工事概要
- 2 現場組織表
- 3 緊急時の体制及び対応
- 4 再生資源利用・利用促進(計画)書
- 5 その他(請負者・発注者が工事施工上必要な事項)

※3 請負額100万円未満の工事資料については、工事写真と出来形のわかる資料とする。(施工計画書等は不要)

※5 建設副産物情報交換システム(COBRIS)を利用して登録した場合は、電子データの提出不要。電子データで提出する場合、国土交通省のホームページより配布している様式(Excel版)で作成する。

※6 インデックスプリントは監督員が指示した場合作成する。省略する場合は、検査時に電子データ(写真等)を確認できる用意をする。

※4 2. 請負者手持ち資料

No.	工 事 資 料 名	検査資料	備 考
1	産業廃棄物マニフェスト	△	廃掃12の3、特記仕様書
2	交通整理員集計表及び伝票		
3	安全教育実施記録簿(写真添付)		安59、安則35
4	建退共証紙購入報告書・建退共証紙受払簿		中小企業退職金共済法
5	有資格者証写し一覧表(元請け、下請け)		安14、安則16
6	新規入場者教育実施記録簿(状況写真添付)		安59、安則35
7	KY 活動等実施記録簿(状況写真添付)		安則35
8	作業員名簿(自社・下請)		安30
9	社内パトロール実施記録簿(状況写真添付)		考査
10	安全協議会等の実施記録簿(状況写真添付)		標準仕様書、考査
11	工事カルテ(請負額500 万円以上)		特記仕様書
12	創意工夫提案資料(状況写真添付)	△	考査
13	地域コミュニケーション、ボランティア活動記録(状況写真添付)	△	考査
14	使用機器車両の点検記録		
15	休暇期間の巡視計画書		

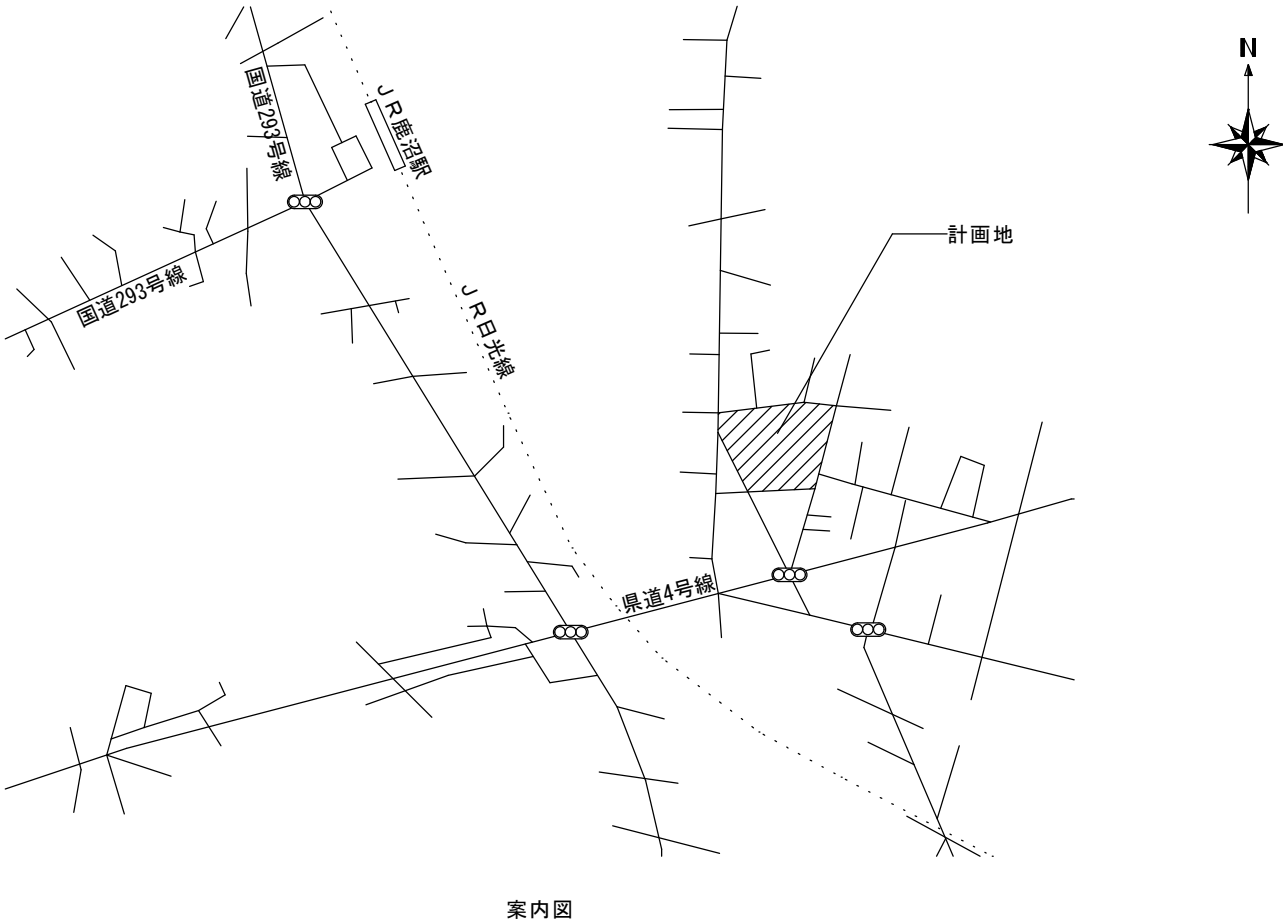
※4 請負者手持ち資料とは、発注者に提出を要しないもの。ただし、施工段階あるいは完成検査時に、必要に応じて確認を求めることがあるもの。(原本・原稿等提示)

建	建設業法
建則	建設業法施行規則
廃掃	廃棄物処理法
安	労働安全衛生法
安則	労働安全衛生規則
労基	労働基準法
契	鹿沼市建設工事請負契約書
標準仕様書	公共建築工事標準仕様書(建築工事編、電気設備編、機械設備編) 公共建築改修工事標準仕様書、 建築物解体工事共通仕様書
考査	考査項目別運用表

東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）

図面リスト

N o .	図面名称
A-00	表紙・図面リスト・案内図
A-01	特記仕様書（その１）
A-02	特記仕様書（その２）
A-03	特記仕様書（その３）
A-04	特記仕様書（その４）
A-05	配置図・仮設計画図
A-06	改修建物仕上表・設計概要
A-07	３号棟 平面図
A-08	３号棟 立面図
A-09	３号棟 階段室各図
A-10	３号棟 詳細図 １
A-11	３号棟 詳細図 ２
A-12	３号棟自転車置場 各図
A-13	ポンプ室 各図
A-14	プロパン庫 各図
A-15	ＬＰＧ集合装置 参考図
A-16	外構 各図



工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	表紙・図面リスト・案内図	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-00
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

○7-3 素地ごしらえ (7.3.2～7) (表 7.3.1～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	◎A種 ・ B種
	透明塗料塗りの場合	・A種 ◎B種
鉄鋼面	DP 以外	・A種 ・B種 ◎C種
	DP	・A種 ◎B種 ・C種
垂鉛めっき鋼面		・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・A種 ◎B種
コンクリート面 (DP 以外) 及び ALG パネル面		・A種 ◎B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		・A種 ・B種
コンクリート面 (DP のみ)		・A種 ◎B種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：継目処理工法	◎A種 ・B種
	目地：継目処理工法以外	・A種 ◎B種

○7-4 錆止め塗料塗り (7.4.2,3) (表 7.4.1～6)

下地面等		塗料	工程
鉄鋼面	SOP 仕上塗料なし	塗替え	◎A種 ・
		新規見え掛け	◎A種 ・
		新規見え隠れ	◎A種 ・
	DP	塗替え	改修標仕 7.4.2 (1) (i) (b) による ・A種 (下地調整 RA 種) ・B種 (下地調整 RB 種) ・C種 (下地調整 RC 種)
		新規	改修標仕 7.4.2 (1) (i) (a) による ・A種 ・
	EP-G	塗替え	◎B種 ・
		新規見え掛け	◎B種 ・
		新規見え隠れ	◎B種 ・
	SOP 仕上塗料なし	塗替え	◎A種 ・
		新規鋼製建具等	◎A種 ・
垂鉛めっき鋼面	SOP 仕上塗料なし	その他	◎B種 ・ ◎B種
		塗替え	◎B種 ・
		新規	◎B種 ・
	DP	塗替え	◎B種 ・
		新規	◎B種 ・
	EP-G	塗替え	◎C種 ・
		新規鋼製建具等	◎C種 ・
		その他	◎C種 ・
	SOP 仕上塗料なし	塗替え	◎A種 ・
		新規鋼製建具等	◎A種 ・

○7-5 各種塗料塗り (7.5.1～7.13.2) (表 7.5.1～7.13.1)

塗装	塗装面	工程	
		塗替え	新規
◎合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ◎1種 ・ 2種	木部 屋外	◎B種	◎A種
	木部 屋内	◎B種	◎B種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	◎B種	・A種 ◎B種
	垂鉛めっき鋼面	◎B種	◎B種
・耐候性塗料塗り (DP)	鋼製建具	◎A種	◎B種
	屋内のコンクリート面 ・モルタル面	◎B種	◎B種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	屋内木部	・1級 (フッ素樹脂塗料) ・2級 (アクリルシリコン樹脂塗料) ・3級 (ポリウレタン樹脂塗料)	・C種
	垂鉛めっき鋼面	・1級 (フッ素樹脂塗料) ・2級 (アクリルシリコン樹脂塗料) ・3級 (ポリウレタン樹脂塗料)	・A種 ・B種 ・C種
	コンクリート面	・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種	・A-1 ・B-1 ・C-1
	押出成形セメント板面	・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種	・A-1 ・B-1 ・C-1
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	屋内木部	◎B種 ・	◎A種 ・
	屋内鉄鋼面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	屋内垂鉛メッキ鋼面	◎A種 ・	・A種 ・B種
	コンクリート面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	モルタル面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	せっこうプラスター面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	せっこうボード面及びその他ボード面	◎B種 ・	・A種 ◎B種
・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	塗装面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	コンクリート面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	モルタル面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	せっこうプラスター面 せっこうボード面	◎B種 ・	・A種 ・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)	屋内コンクリート面	・A種	・A種 ・B種
	モルタル面	◎B種	
	せっこうプラスター面	・C種	
	せっこうボード面		
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部等		
	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・ラッカーエナメル塗り (LE)		・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
		・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・クリヤラッカー塗り (CL)		・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
		・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・ステイン塗り	木部	・ビグメントスティン塗り ・オイルステイン塗り (OS)	・A種 ◎B種
	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・木材保護塗料塗り (WP)	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・水性ウレタン樹脂塗料塗り	木部	2 波形 4 回塗り 1 回の塗付量 0.06kg/m ³ ホルムアルデヒド放散量☆☆☆☆	
	鉄鋼面	◎メーカー仕様による	

遮熱塗料塗り	
合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ◎1種	
9章 環境配慮工事	

・9-1 アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)

アスベスト粉じん濃度測定

- 行う (測定名称及び測定点は下表による)

測定箇所 ◎図示 ・下表による

測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考
・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	—
・測定2		施工区画周辺または敷地境界	計点	—
・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	—
・測定4		セキュリティゾーン入口	各点	空気の流れを確認
・測定5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認
・測定6		施工区画周辺または敷地境	計点	—
・測定7	処理作業後	処理作業室内	各点	—
・測定8	隔離シート撤去前	施工区画周辺または敷地境界	計点	—

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

測定 3	測定 1、 2、 4、 6、 7、 8	測定 5
計測機器	位相差顕微鏡	
メンブレンフィルタの直径	25 mm	
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min
試料の透明化	アセトン・トリアセチレン法またはシュウ酸ジエチル法	
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本または視野数 50 視野	
計数アスベスト	直径 3 μm 未満、長さ 5 μm 以上、長さ と直径比 3 : 1 以上	
定量限界	50 f/l	0.5 f/l
報告書の作成 (記載する項目)		
ア 測定結果		
イ 測定時間		
ウ 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する)		
エ サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)		
オ マウンティング方法		
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数		
キ 測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向		

○9-2 アスベスト含有材の処理 (9.1.3～6)

- アスベスト含有吹き付け材の除去

除去範囲 ◎図示 ・

除去工法 改修標仕 9.1.3 によるほか、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様による。

処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

除去したアスベスト含有吹付け材等の処分

- 埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

- アスベスト含有保温材の除去

除去範囲 ◎図示 ・

除去工法 ・改修標仕 9.1.4 による (原形のまま、手ばらしが可能な場合)

処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化

除去したアスベスト含有保温材の処分

- 埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

- ◎アスベスト含有成型板等の除去

除去範囲 ◎図示 ・

除去工法 ◎改修標仕 9.1.5 による

除去したアスベスト含有成形板等の処分

- アスベスト含有石こうボード

◎埋立処分 (管理型最終処分場)

- ◎アスベスト含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板等

◎埋立処分 (安定型最終処分場) ◎中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

- アスベスト含有建築用仕上塗材の除去

除去範囲 ◎図示 ・

除去工法 ・改修標仕 9.1.6 による

除去したアスベスト含有建築用仕上塗材の処分

- 埋立処分 (管理型最終処分場)

- 埋立処分 (安定型最終処分場)

- 中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・9-3 外断熱改修工事 (9.3.2～4)

断熱材の種類	材料名	厚さ (mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロン [G])		
・押出法ポリスチレンフォーム (ノンフロン [G])		
・硬質ウレタンフォーム (ノンフロン [G])		
・フェノールフォーム		
・ロックウール		
・グラスウール		
外装材の種類		
・		
既存外壁の仕上材の撤去 ・有 ・無		
下地面の清掃及び下地調整 ◎断熱材製造所の指定する仕様		
通気層 ・有 (mm) ・無		
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。		
特記なき事項は、製造所の仕様による。		

・9-4 屋上緑化改修工事 [G] (9.4.1)

植栽基盤及び材料

- 屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等 ◎図示

・9-5 透水性アスファルト舗装改修工事 [G] (9.5.3,4,9) (表 9.5.1,3,5)

凍上抑制層の材料

- 凍上抑制層 ◎再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン切込み砂利 ・砂

厚さは図示による

盛り土に用いる材料

- ・A種 ◎B種 ・C種 ・D種

路床安定処理

◎添加材料による安定処理

種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種

- ・生石灰 () ・消石灰 ()

- 添加量 ・ kg/m³ (目標 CBR ・ 5 以上 ・)

路盤材料

◎再生クラッシュラン (RC-40) [G]

・クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) [G]

・クラッシュラン (C-40)

透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの

路床土の支持力比 (CBR) 試験 ◎行う (・乱した土 ◎乱さない土) ・行わない

路床締固め度の試験 ◎行う

砂の粒度試験 ◎行う

現場 CBR 試験 ◎行う

セメント及びセメント系固化剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験

◎行う 「セメント及びセメント系固化剤を使用した六価クロム溶出試験要領(案)」による。

アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ◎行わない

・9-6 PCB 含有シーリング材の処分

- (1) 事前調査等

シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。

- ・現場においてサンプルを採取

採取箇所 ◎外壁目地 ・図示 ・

採取箇所数 ◎部材が異なる毎に1箇所 ・図示 ・

分析により PCB の含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。

- (2) 施工調査等

調査範囲 ◎図示 ・

処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査等を行うこと。

シーリング使用部位の確認

シーリング長さの確認

施工範囲と工事管理区分の確認

仮設計画

廃棄物等の搬出方法

- (3) 除去処理工事

除去方法

「標準施工要領書 (日本シーリング工事共同組合連合会／日本シーリング材工業会)」による。

・9-7 処理に注意を要する建設副産物

名称	仕様	数量	備考
・CCA 処理木材			
・石綿含有石こうボード			
・ひ素・カドニウム含有石こうボード			
・上記以外の石こうボード			

石こうボードの撤去にあたっては、下記に事項について施工前調査を行う。

調査結果は、図面及び写真に記録し、監督職員に提出する。

- (1) 石こうボードの使用部位の確認

- (2) 石こうボードの種類、製造会社名、厚さ等の確認、記録

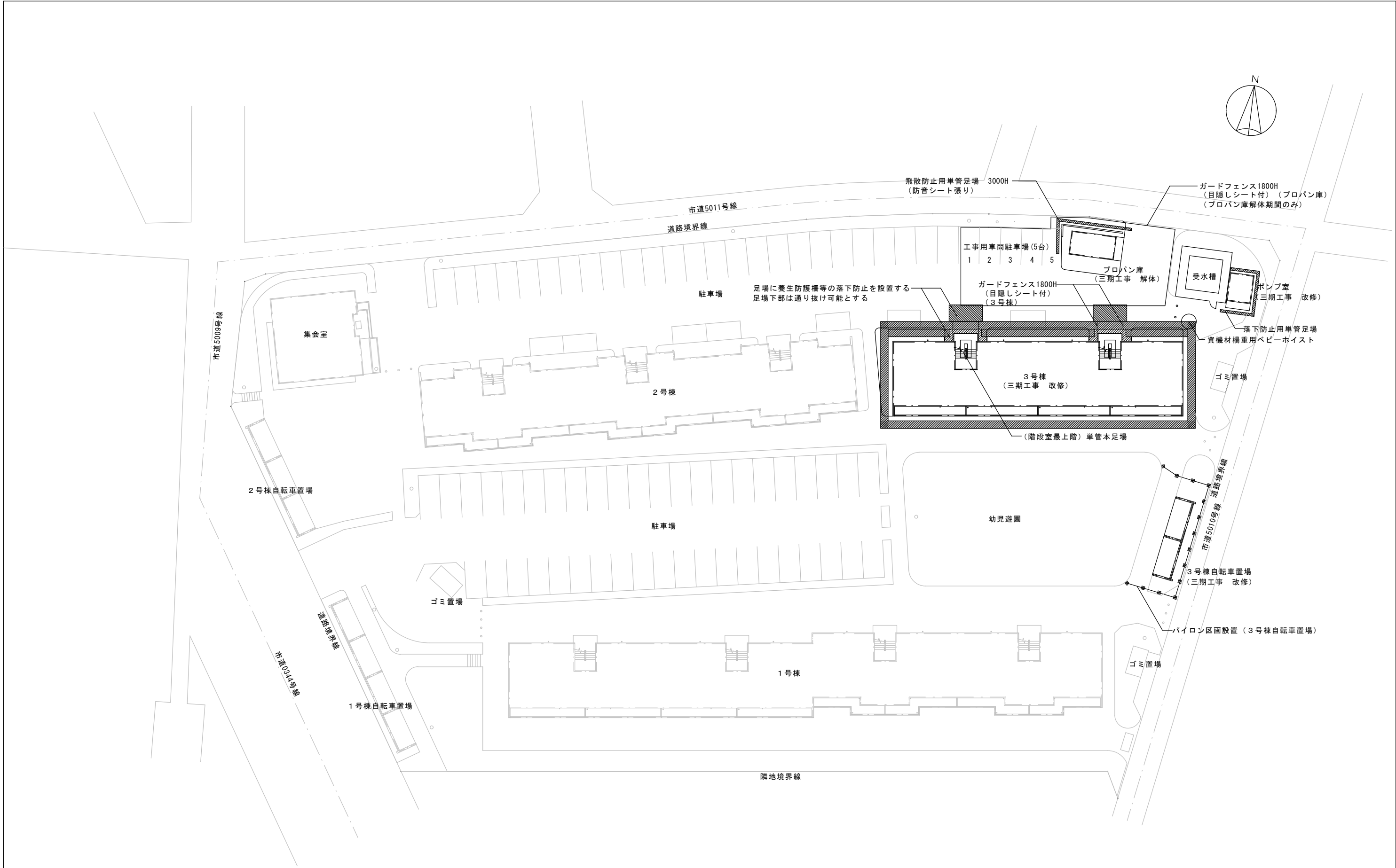
- (3) 石こうボードの使用数量の確認

- (4) 施工範囲等の確認

処分を委託する際には、マニフェストの備考欄に石こうボードの有無、製造会社名等を記載する。

工事名称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その４）	図面番号
設計年月日	令和 5 年 10 月 25 日	A-04
設計者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発注者	鹿沼市	

(鹿沼市 R5, 4)



工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	配置図・仮設計画図 / A2 1:300	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-05
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

改修建物仕上表				設計概要							
建物名称	部位		前	後	所在地	鹿沼市東町 1 丁目					
3 号棟（三期工事）	軒天		【撤去】有孔ケイカル板6t 目透かし E P	【新設】有孔ケイカル板6t 目透かし E P－G	施設名称	東町市営住宅					
1 号棟（一期工事） 2 号棟（二期工事） 3 号棟（三期工事）	屋根		フッ素樹脂鋼板0.4 t 段葺 【撤去】軒先唐草・雨押え（シート防水絡む箇所のみ）	フッ素樹脂鋼板0.4 t 段葺【改修】ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料塗替え【再取付】軒先唐草・雨押え 【新設】ポリエステル樹脂系ガルバリウム鋼板0.4 t 水切（1 号棟）	工期区分	建物名称	構造・階数	延床面積 （㎡）	建築面積 （㎡）	工事種別	
	屋根下端		コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】南面【改修】北・西・東面	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材							
	庇	平場・立上り	モルタル塗【撤去】塩化ビニル樹脂系シート防水2 t	モルタル塗【改修】下地改修の上塩化ビニル樹脂系シート防水2 t 保護塗料 接着工法（仮防水施工含む）							
		外側壁	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】南面【改修】北・西・東面	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
		下端	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】南面【改修】北・西・東面	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材							
		ドレイン	【撤去】鋳鉄製ルーフドレイン100φストレーナー	【新設】改修用ルーフドレイン100φ用							
		笠木	【撤去】アルミ製笠木180 w（シート防水絡む箇所のみ）	【再取付】アルミ製笠木180 w（【改修】アクリル製笠木下（コンクリート打放し部、シート防水下地も外側部）は下地改修）							
		テレビアンテナ架台	コンクリート打放し防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し防水モルタル金ゴテ押え【改修】下地改修の上ウレタン塗膜防水（笠木天端は水勾配をつける）							
	屋上マンホール		【撤去】ステンレス製マンホール	【再取付】ステンレス製マンホール（【改修】ステンレス製マンホール下（コンクリート打放し部、シート防水下地も外側部）は下地改修）							
	外壁		コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】南面【改修】北・西・東面	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
	タイル張		タイル張	タイル張【改修】下地改修							
	外壁巾木		モルタル20 t 金ゴテ押え	モルタル20 t 金ゴテ押え【改修】下地改修の上基礎巾木用塗রি材							
	階段室	排水溝	防水モルタル金ゴテ押え60 w	防水モルタル金ゴテ押え60 w【改修】下地改修の上ウレタン塗膜防水							
		外周壁・手摺壁（内側）	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E（準不燃以上）							
		手摺壁（外側）	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
		手摺壁笠木	コンクリート打放しベンキ【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E（準不燃以上）							
		巾木・外壁巾木	モルタル20 t 金ゴテ押え【改修】外壁巾木のみ	モルタル20 t 金ゴテ押え【改修】下地改修の上基礎巾木用塗রি材							
		中壁	モルタル20 t 金ゴテ押え【改修】	モルタル20 t 金ゴテ押え【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E（準不燃以上）							
		天井・階段裏	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材（準不燃以上）							
	ベランダ	電気ブレーカーボックス	金属製ベンキ	金属製ベンキ【改修】 S O P 塗替え							
		平場・立上り	モルタル塗ウレタン塗膜防水3 t 歩行用	モルタル塗ウレタン塗膜防水3 t 歩行用【改修】ウレタン塗膜防水塗替え							
		手摺壁（内側 外側）	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
		手摺壁（外側）	タイル張	タイル張【改修】下地改修							
		手摺壁笠木	コンクリート打放しベンキ【撤去】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
		下端	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材							
		ドレイン	【撤去】鋳鉄製中継ルーフドレイン100φストレーナー・鋳鉄製ルーフドレイン65φストレーナー（2号棟は65φ無）	【再取付】鋳鉄製中継ルーフドレイン100φストレーナー・鋳鉄製ルーフドレイン65φストレーナー【改修】錆落とし 防錆塗装塗替え（2号棟は65φ無）							
		笠木付手摺	【撤去】アクリル製笠木180 w付手摺・ガスケッ(2号棟)・シーリング(1,3号棟)	【再取付】アルミ製笠木180 w付手摺・ガスケッ(2号棟) 【新設】シーリング(1,3号棟)（【改修】アクリル製笠木下（コンクリート打放し部）は下地改修）							
		隔板	【撤去】石綿セメント板5 t V E 避難表示付(両面)・ガスケッ(1,2号棟)・アクリル枠	【新設】ケイカル板5 t 塗装品 避難表示付(両面)【再取付】ガスケッ（1,2号棟）・アルミ枠							
		避難ハッチ	【撤去】埋設式ステンレス製避難はしご（中枠は除く）	【新設】埋設式ステンレス製避難はしご（中枠は除く）							
		排水管・通気管	DVLP80φ 炭素鋼鋼管80φ 取付金物 ベンキ及びウレタン塗膜防水3 t 歩行用 【撤去】通気管ベントキャップ	D V L P 80φ 炭素鋼鋼管80φ 取付金物 ベンキ及びウレタン塗膜防水3 t 歩行用【改修】 S O P 及びウレタン塗膜防水塗替え 【新設】ドルゴ通気弁75φ							
	冷媒管・ドレイン管・室外機	冷媒管・ドレイン管・室外機（移動しながら施工すること）	冷媒管・ドレイン管・室外機								
	樋	壁樋・呼樋	S G P 100φ 65φ メッキ処理 取付金物【撤去】北面【改修】南面	【新設】北面 カラーVPφ100 【改修】 S G P 100φ 65φメッキ処理取付金物 南面 S O P 塗替え							
		PS扉・点検口扉	扉・枠：防錆処理 S O P	扉・枠：防錆処理 S O P【改修】 S O P 塗替え							
		アルミ手摺	【撤去】アルミ手摺2000×900	【再取付】アルミ手摺2000×900							
	開口部	窓庇	ボンデ鋼板1.6 t 焼付塗装	ボンデ鋼板1.6 t 焼付塗装【改修】 S O P 塗替え							
		ダクト接続	【撤去】アルミ製丸形パイプフード B L ガラリ付 100φ 150φ	【新設】アルミ製深型フードワイド水切タイプ 標準タイプ 縦ギャラリ 網5メッシュ 100φ 150φ							
	シーリング材		【撤去】シーリング	【新設】シーリング							
	1 号棟自転車置場（二期工事） 2 号棟自転車置場（二期工事） 3 号棟自転車置場（三期工事）	壁		コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【改修】							コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E 【改修】駐輪バーφ30 S O P 塗替え
		巾木		コンクリート打放し							コンクリート打放し【改修】下地改修の上基礎巾木用塗রি材
		庇	平場	コンクリート金ゴテ押え							コンクリート金ゴテ押え【改修】下地改修の上ウレタン塗膜防水
			立下り	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【改修】							コンクリート打放し【改修】下地改修の上ウレタン塗膜防水
	下端		コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材							
集会室（二期工事）	屋根		フッ素樹脂鋼板0.4 t 瓦葺葺（芯木無し）	フッ素樹脂鋼板0.4 t 瓦葺葺（芯木無し）【改修】ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料塗替え							
	屋根下端		コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材							
	外壁		コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
	タイル張		タイル張	タイル張【改修】下地改修							
	外壁巾木		モルタル25 t 刷毛引き	モルタル25 t 刷毛引き【改修】下地改修の上モルタル刷毛引き2 t							
	ポーチ庇	平場・立上り	モルタル塗【撤去】シート防水1.2 t（非歩行用）	モルタル塗【改修】下地改修の上塩化ビニル樹脂系シート防水2 t 保護塗料 接着工法（仮防水施工含む）							
		外側壁	コンクリート打放し【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
		下端	コンクリート打放し【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材							
		ドレイン	【撤去】鋳鉄製ルーフドレイン75φストレーナー	【新設】改修用ルーフドレイン75φ用							
	三角庇	笠木	【撤去】アルミ製笠木175 w	【再取付】アルミ製笠木175 w（【改修】アクリル製笠木下（コンクリート打放し部、シート防水下地も外側部）は下地改修）							
		上端・立下り	コンクリート打放し【改修】	コンクリート打放し【改修】カラーガルバリウム鋼板 立平葺き 働き巾455							
	開口部	下端	コンクリート打放し【改修】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材							
		換気口	【撤去】破損アルミガラリ250 w×200 h 水切付	【新設】アルミガラリ250 w×200 h 水切付							
	外壁巾木	窓	【撤去】割れフロート板ガラス5 t・ガスケッ	【新設】フロート板ガラス5 t【再取付】ガスケッ							
		窓	【撤去】カラーV U 75φ 取付金物	【新設】カラーV U 75φ 取付金物							
	フード	ダクト接続	【撤去】アクリル製丸形パイプフード B L ガラリ付 150φ 北面のみ F D 付	【新設】アルミ製深型フードワイド水切タイプ 標準タイプ 縦ギャラリ 網5メッシュ 150φ 北面のみ F D 付（厨房排気系統120度 一般部72度）							
			【撤去】アクリル製丸形パイプフード B L ガラリ付 150φ 北面のみ F D 付	【新設】アルミ製深型フードワイド水切タイプ 標準タイプ 縦ギャラリ 網5メッシュ 150φ 北面のみ F D 付（厨房排気系統120度 一般部72度）							
冷媒管・ドレイン管		冷媒管・ドレイン管（移動しながら施工すること）	冷媒管・ドレイン管								
シーリング材		【撤去】シーリング	【新設】シーリング								
ポンプ室（三期工事）	屋根・庇	平場・立上り	モルタル塗【撤去】塩化ビニール樹脂系シート防水2 t	モルタル塗【改修】下地改修の上塩化ビニル樹脂系シート防水2 t 保護塗料 接着工法（仮防水施工含む）							
		外側壁	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
		下端	コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上下塗材の上軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材							
		笠木	【撤去】アルミ製笠木150 w	【再取付】アルミ製笠木150 w（【改修】アクリル製笠木下（コンクリート打放し部、シート防水下地も外側部）は下地改修）							
	外壁		コンクリート打放しアクリル系リシン吹付【撤去】	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E							
	外壁巾木		コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上基礎巾木用塗রি材							
	開口部	出入口ドア	扉・枠：スチール O P 枠：【撤去】割れ網入り型板ガラス6.8 t・シーリング	扉・枠：スチール O P【改修】 S O P 塗替え 枠：【新設】網入り型板ガラス6.8 t・シーリング							
	シーリング材		【撤去】シーリング	【新設】シーリング							
フェンス		【撤去】フェンス	【再取付】フェンス								

※で囲まれたものは石綿含有建材（レベル3）

※コンクリート打放し面の仕上げを撤去する面については、アルカリ付与 B R－B 及び中性化抑制兼下地調整 B R－A D を施工する。

※（準不燃以上）記載箇所は最終の仕上材を準不燃以上とする。

※可とう形改修塗材 C E の仕上の形状は、ざざなみ状（ローラー）とし上塗材は1液水系無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【耐候形1種相当】（（準不燃以上）記載箇所は1液水系高耐候性アクリルリコン樹脂塗料【耐候形1種】）とする。

※軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材の下塗材はカチオン形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材（浸透形）とする。

※可とう形改修塗材 C E、軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材、アルカリ付与、中性化抑制兼下地調整、カチオン形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材（浸透形）は菊水化学工業㈱の製品と同等とし、施工工程はメーカーの指定による。

※塩化ビニル樹脂系シート防水2 t の保護塗料は塩ビシート用アクリルウレタン系2液硬化型保護塗料とする。

※屋根の塗装改修において下地調整は R B 種とし、ケレン除去により下地が露出している場合は錆止め塗料で補修塗リを行う。

※シーリングの改修及び階段室内の改修に使われる材料のホルムアルデヒド放散量は規制対象外とする。

※「下地改修」と記載されている範囲は施工数量調査を行う。施工数量調査の方法及び施工数量調査で既存部分の破壊を行った場合の補修方法は監督職員と協議の上決定する。

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	改修建物仕上表・設計概要	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

※で囲まれたものは石綿含有建材（レベル3）

※コンクリート打放し面の仕上げを撤去する面については、アルカリ付与BR-B及び中性化抑制兼下地調整BR-Aを施工する。
※（準不燃以上）記載箇所は最終の仕上材を準不燃以上とする。

※可とう形改修塗材CEの仕上の形状は、さざなみ状（ローラー）とし上塗材は1液水系無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【耐候形1種相当】（（準不燃以上）記載箇所は1液水系高耐候性アクリルリコン樹脂塗料【耐候形1種】）とする。

※軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材の下塗材はカチオン形アクリル樹脂エマルション系下塗材（浸透形）とする。

※可とう形改修塗材CE、軒天塗替え用アクリルリコン樹脂仕上塗材、アルカリ付与、中性化抑制兼下地調整、カチオン形アクリル樹脂エマルション系下塗材（浸透形）は菊水化学工業㈱の製品と同等とし、施工工程はメーカーの指定による。

※塩化ビニル樹脂系シート防水2tの保護塗料は塩ビシート用アクリルウレタン系2液硬化型保護塗料とする。

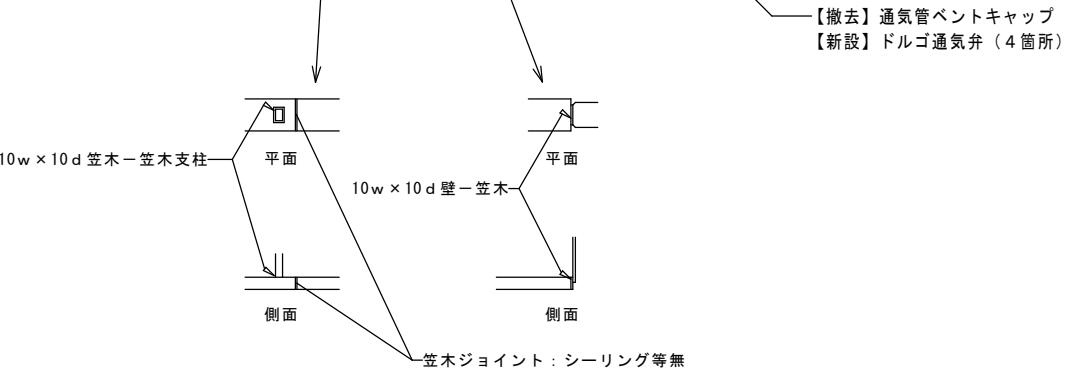
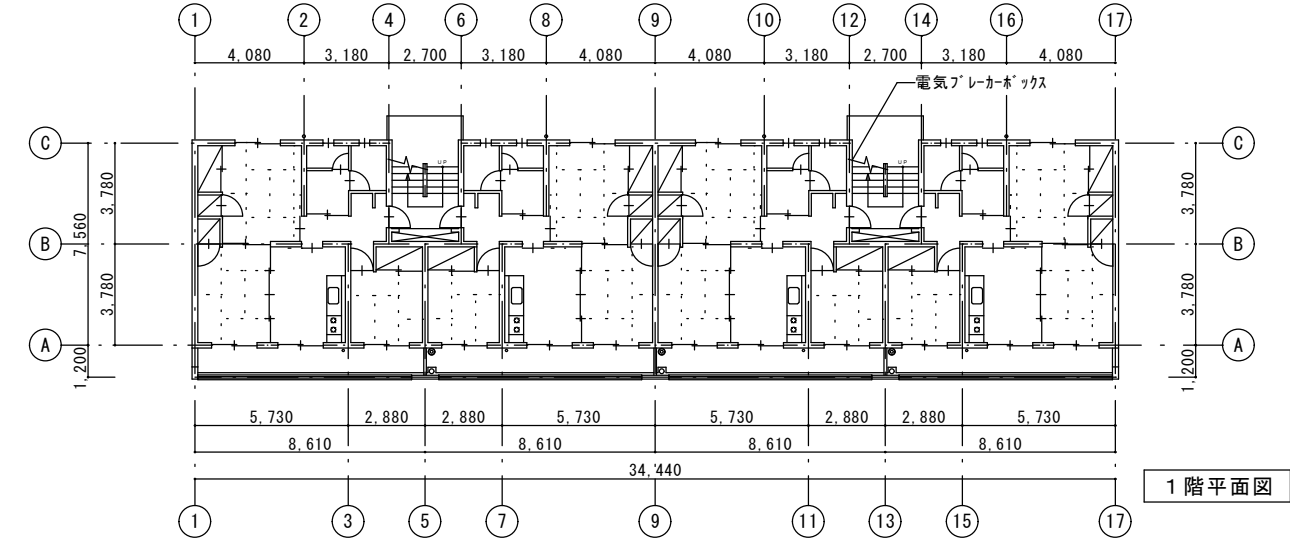
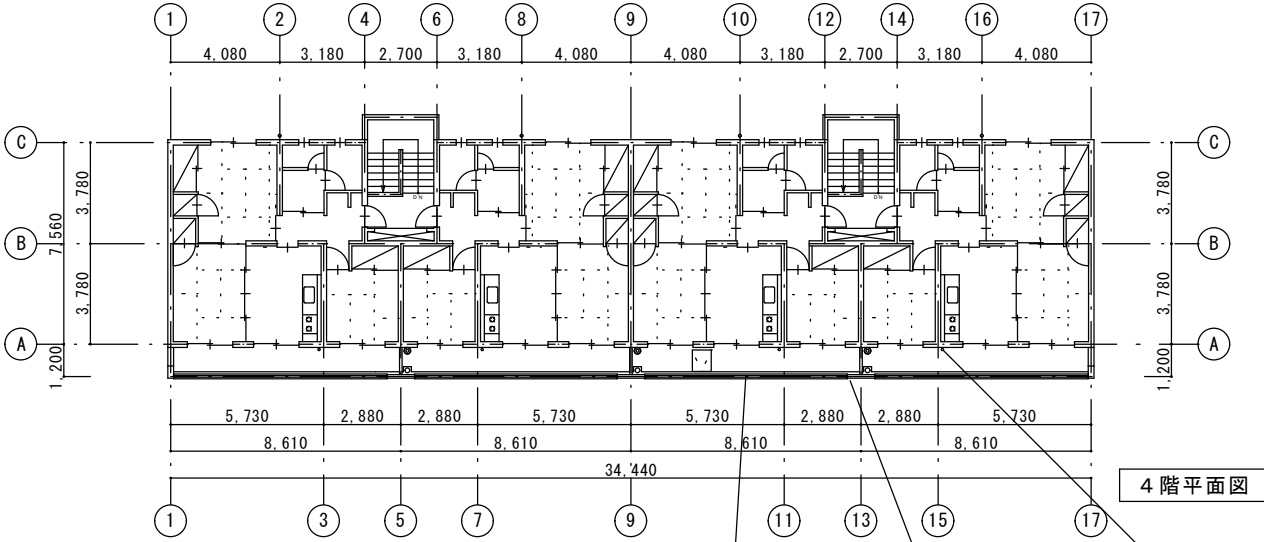
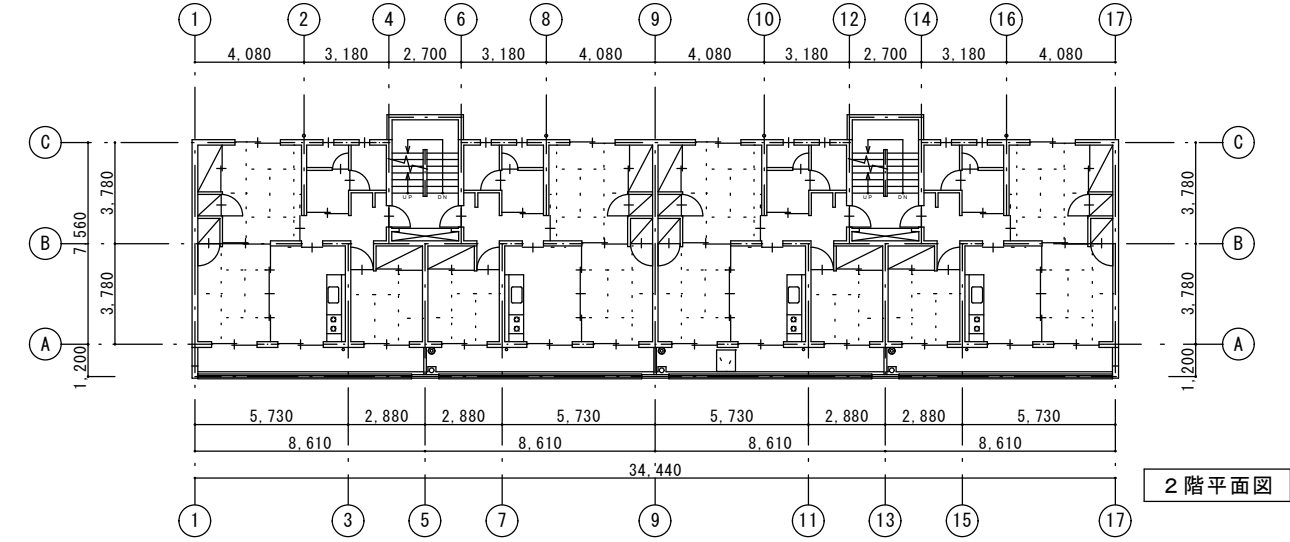
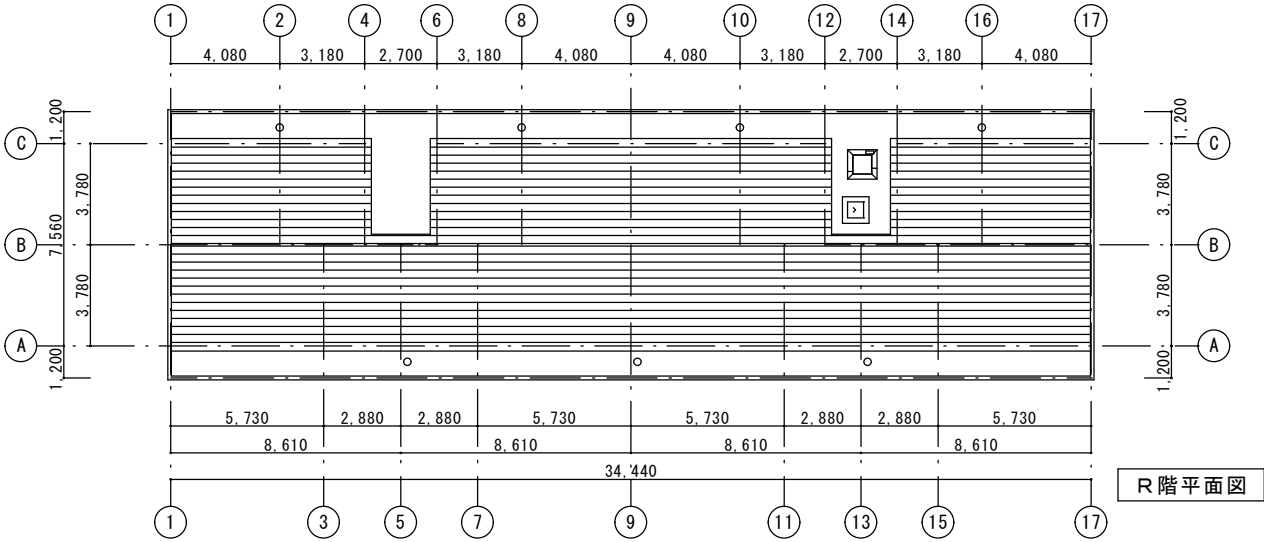
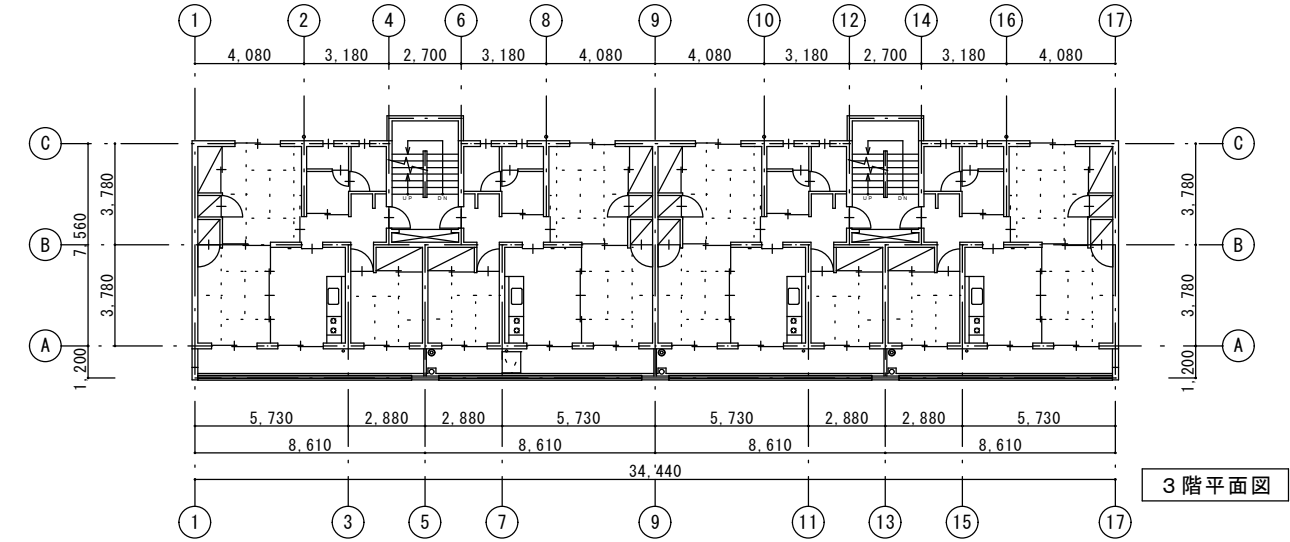
※屋根の塗装改修において下地調整はRB種とし、ケレン除去により下地が露出している場合は錆止め塗料で補修塗りを行う。

※シーリングの改修及び階段室内の改修に使われる材料のホルムアルデヒド放散量は規制対象外とする。

※「下地改修」と記載されている範囲は施工数量調査を行う。施工数量調査の方法及び施工数量調査で既存部分の破壊を行った場合の補修方法は監督職員と協議の上決定する。

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）		
図面名称／縮尺	改修建物仕上表・設計概要		図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		A-06
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

下地状況及び改修方法
図示無. ひび割れ（幅0.2mm未満）→シーリング工法 可とう性エポキシ樹脂充填
1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシーリング材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布
2. 欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル
3. みなし欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル
4. 浮き→アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法



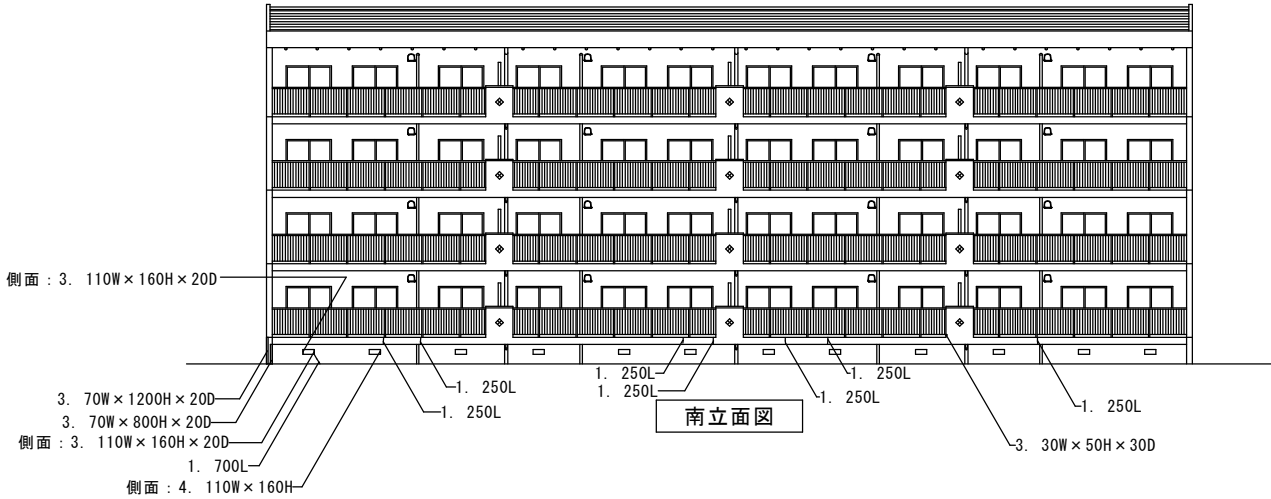
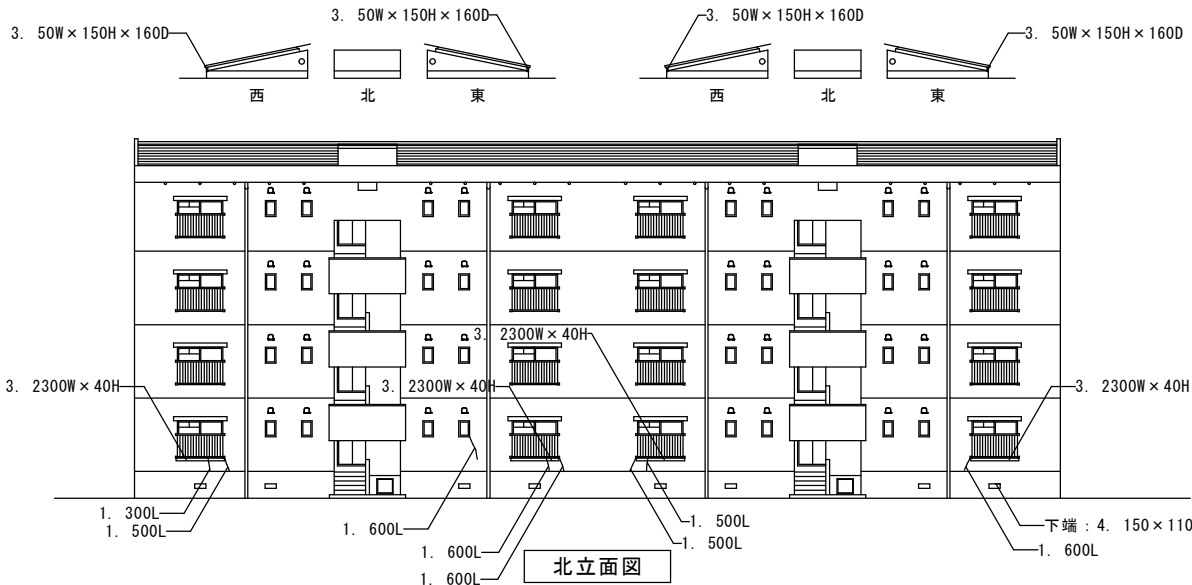
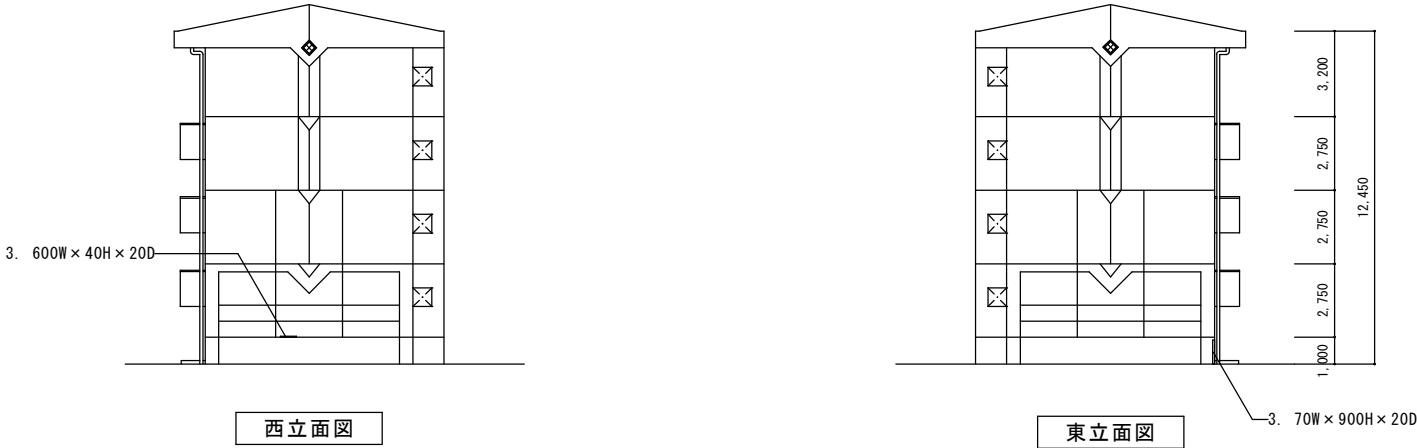
※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。

凡例
◀ 前
後 【撤去】シーリング
【新設】シーリング

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	3号棟 平面図 / A2:S=1:200	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-07
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

下地状況及び改修方法

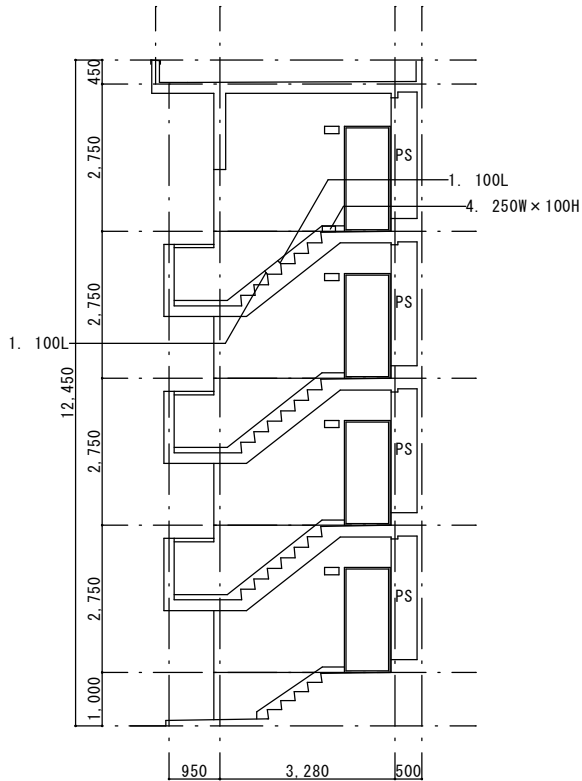
図示無. ひび割れ（幅0.2mm未満）→シーリング工法 可とう性エポキシ樹脂充填
1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシーリング材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布
2. 欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル
3. みなし欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル
4. 浮き→アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法



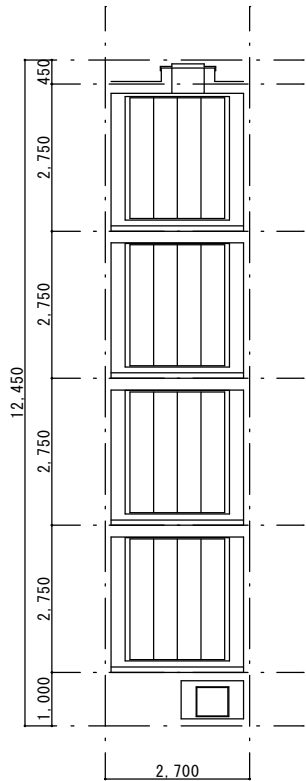
※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	3号棟 立面図 / A2:S=1:200	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-08
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

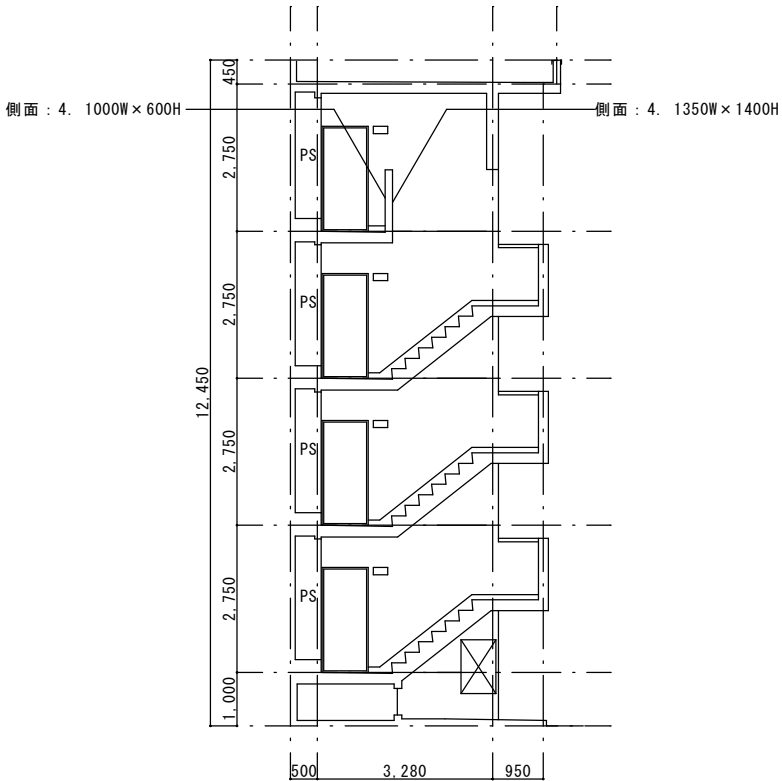
下地状況及び改修方法
図示無. ひび割れ（幅0.2mm未満）→シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填 1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布 2. 欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル 3. みなし欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル 4. 浮き→アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法



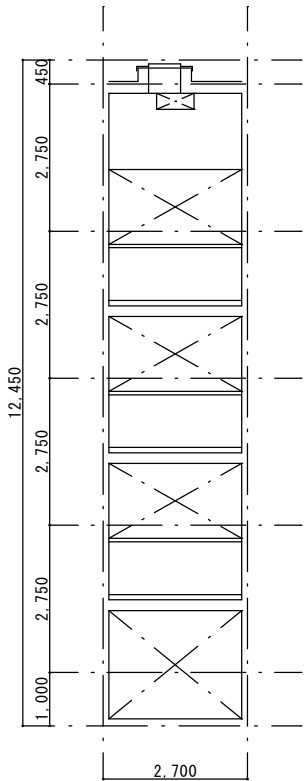
展開図 1



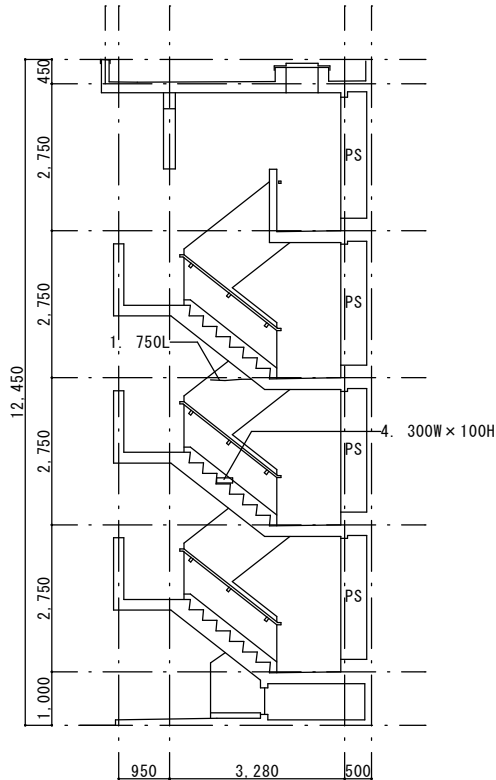
展開図 2



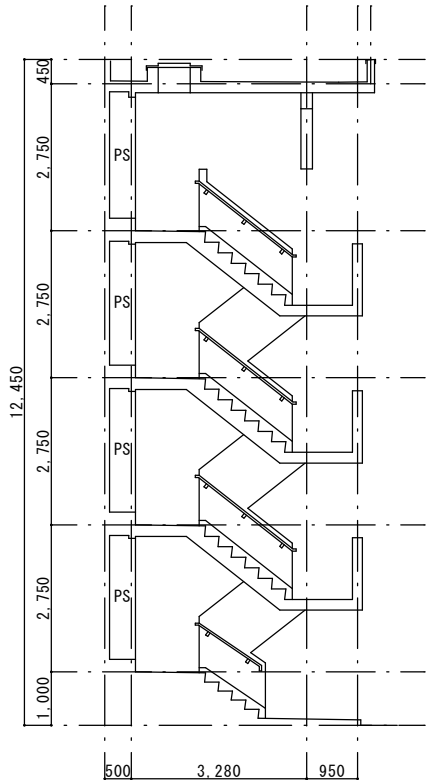
展開図 3



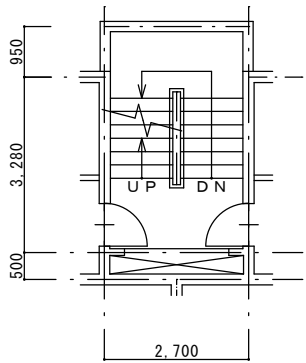
展開図 4



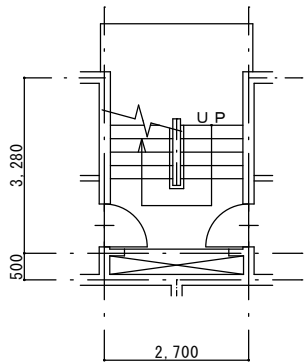
展開図 5



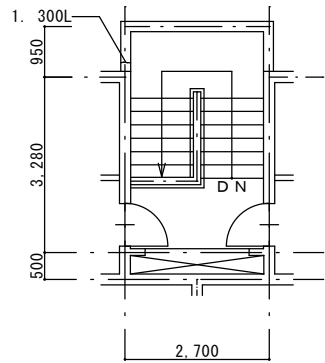
展開図 6



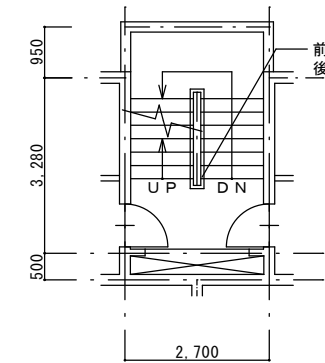
3階平面図



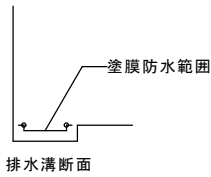
1階平面図



4階平面図

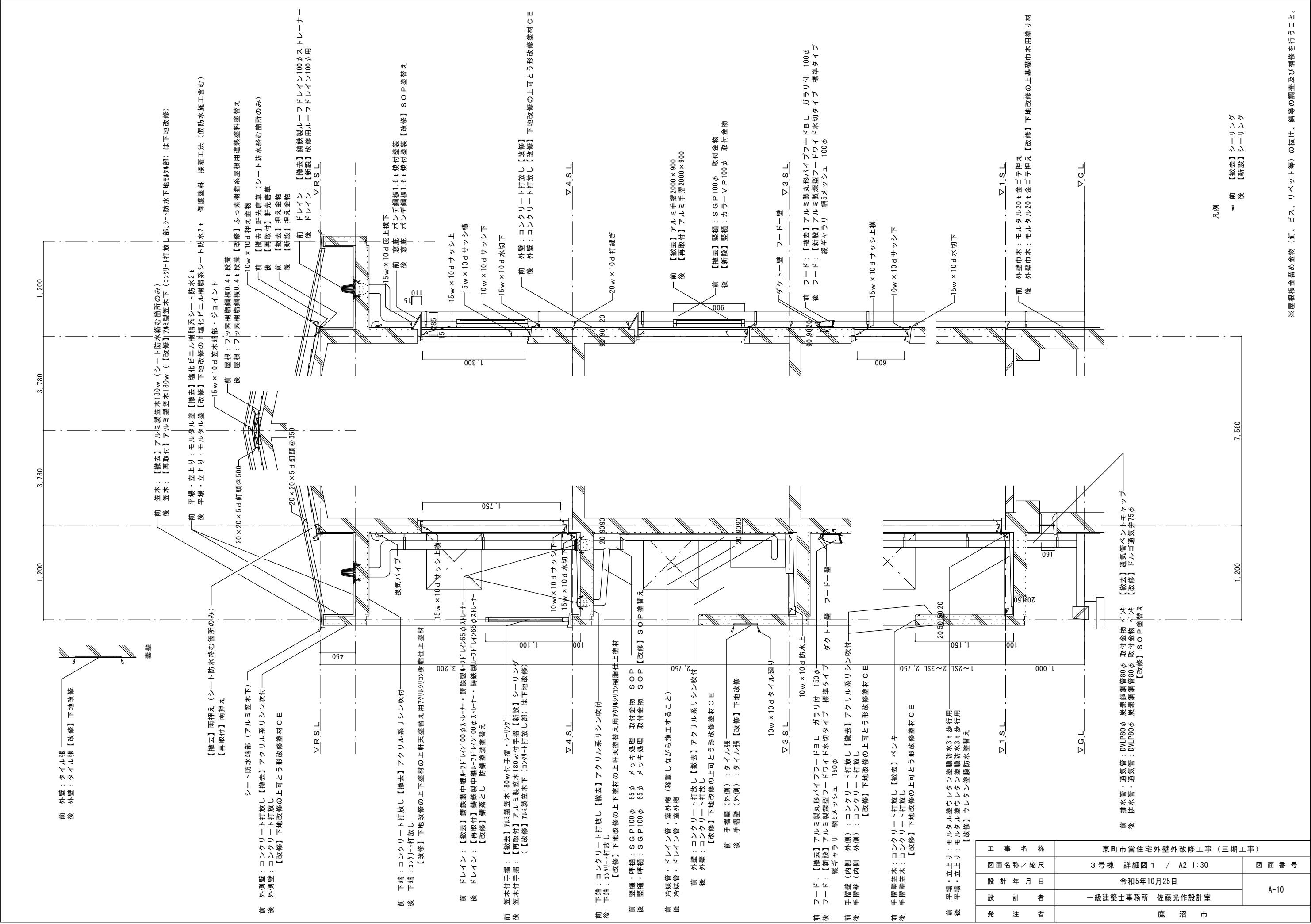


2階平面図



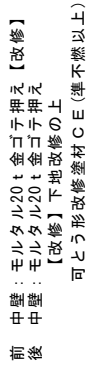
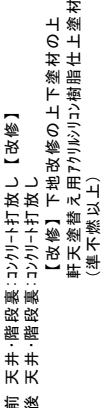
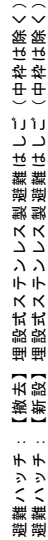
※この図面にある下地状況は建物最西端の階段室についてのもの。
※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	3号棟 階段室各図 / A2 1:100	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-09
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

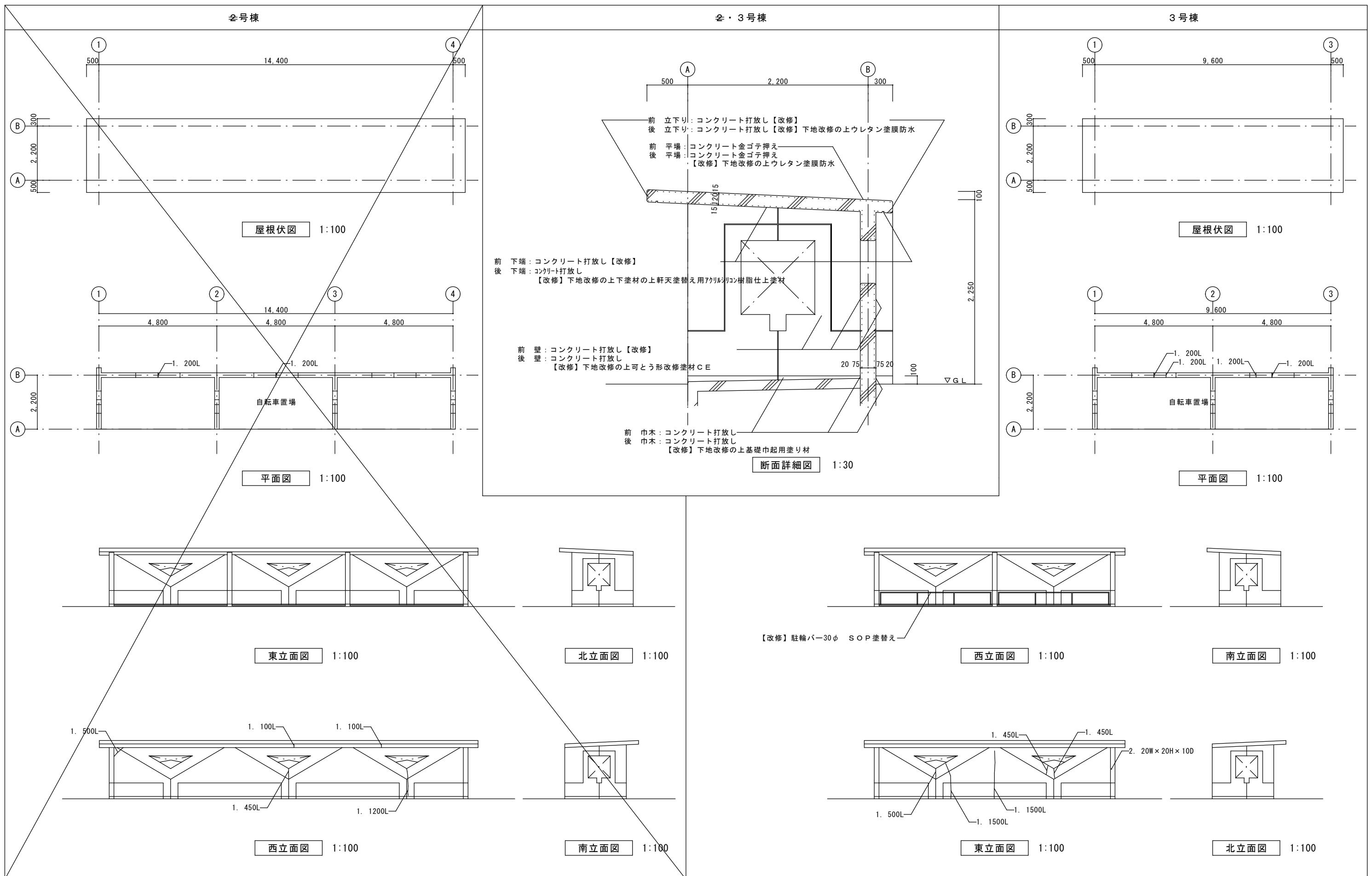


H 事 各 称		東町市産住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	3号棟 詳細図 1 / A2 1:30	図面番号	
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	A-10	
発 注 者	鹿 沼 市		

※屋根根板金留め金物（釘、ビス、リベット等）の抜け、錆等の調査及び補修を行うこと。



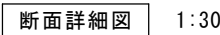
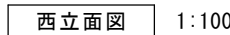
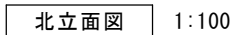
※(準不燃以上)記載箇所は最終の仕上材を準不燃以上とする。
(準)◀—○はその範囲境界を示す。



下地状況及び改修方法 図示無. ひび割れ（幅0.2mm未満）→シール工法　可とう性エポキシ樹脂充填 1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシール材充填工法　可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布 2. 欠損→充填工法　エポキシ樹脂モルタル 3. みなし欠損→充填工法　エポキシ樹脂モルタル 4. 浮き→アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法	※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。	工 事 名 称 東 町 市 営 住 宅 外 壁 外 改 修 工 事（三期工事）
		図面名称／縮尺 全・3号棟自転車置場 各図 / A2 1:100 1:30 図 面 番 号
		設 計 年 月 日 令和5年10月25日
		設 計 者 一級建築士事務所 佐藤光作設計室
		発 注 者 鹿 沼 市

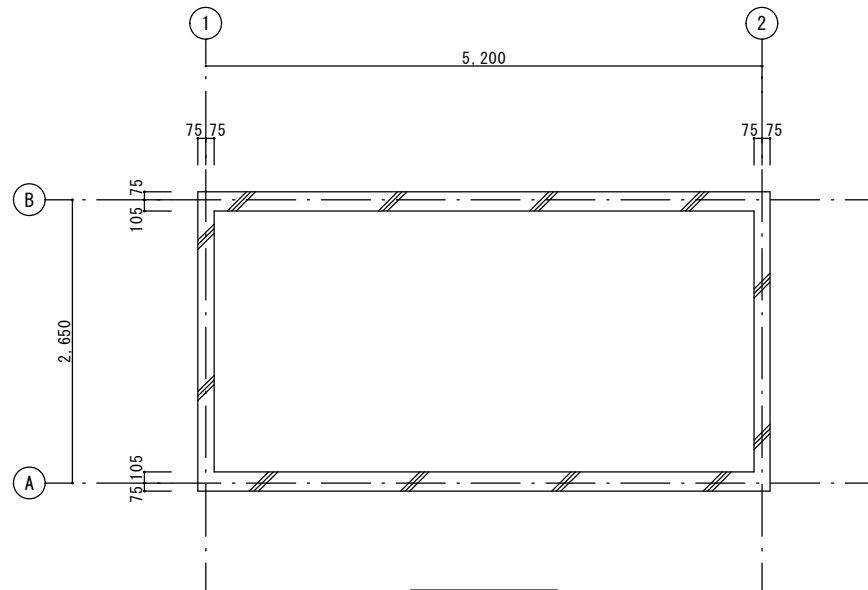
下地状況及び改修方法	
図示無・ひび割れ（幅0.2mm未満）	シーリング工法 可とう性エポキシ樹脂充填
1. ひび割れ（幅0.2mm以上）	→ Uカットシーリング材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布
2. 欠損→充填工法	エポキシ樹脂モルタル
3. みなし欠損→充填工法	エポキシ樹脂モルタル
4. 浮き→アンカービニング部分	エポキシ樹脂注入工法

4. 浮き→アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法

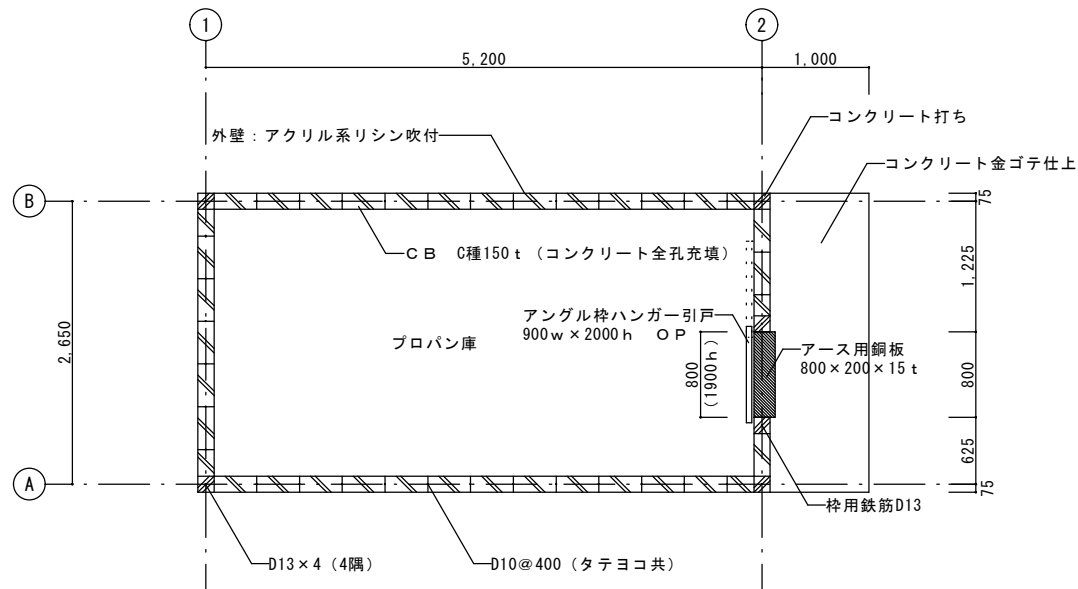


△ 前 【撤去】シーリング
後 【新設】シーリング

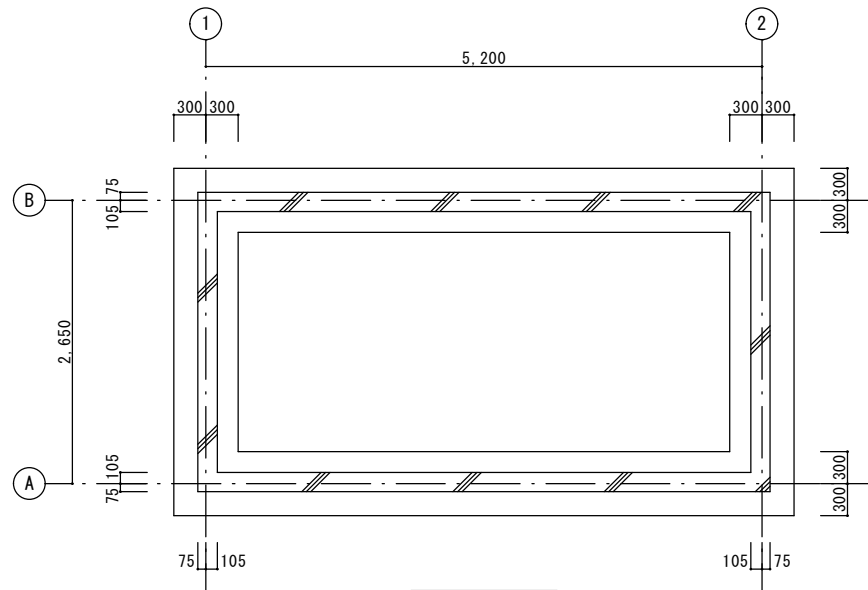
工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	ポンプ室 各図 / A2 1:100 1:30	図面番号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-13
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	



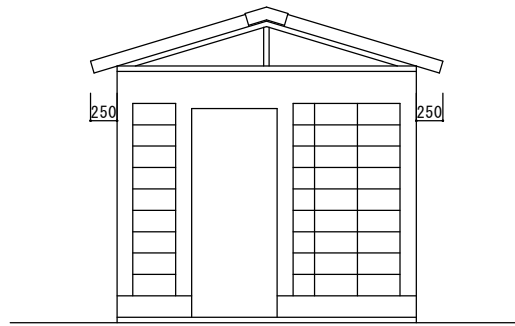
臥梁伏図 1:50



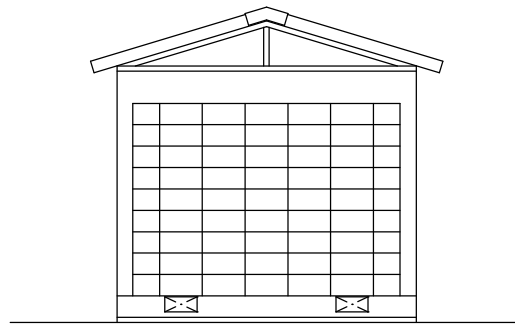
平面図 1:50



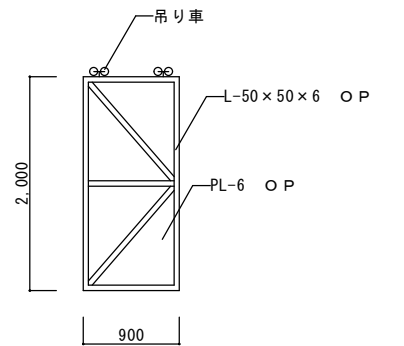
基礎伏図 1:50



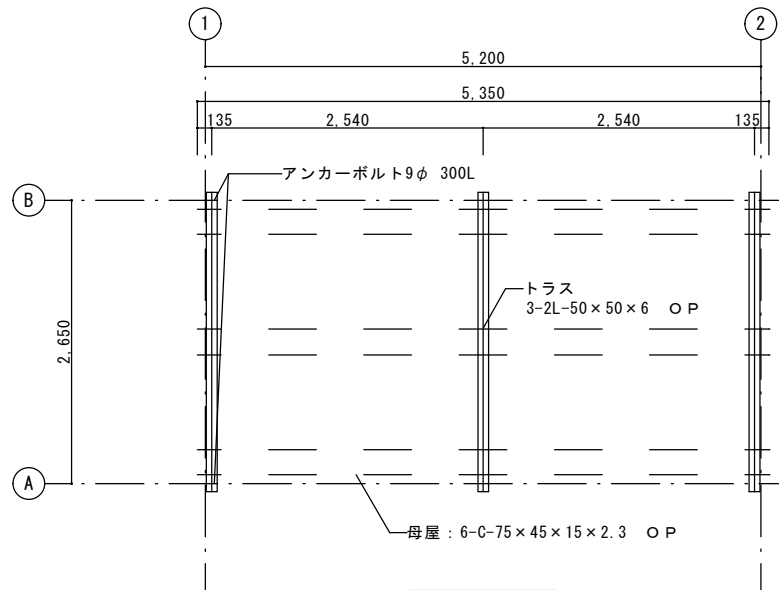
東立面図 1:50



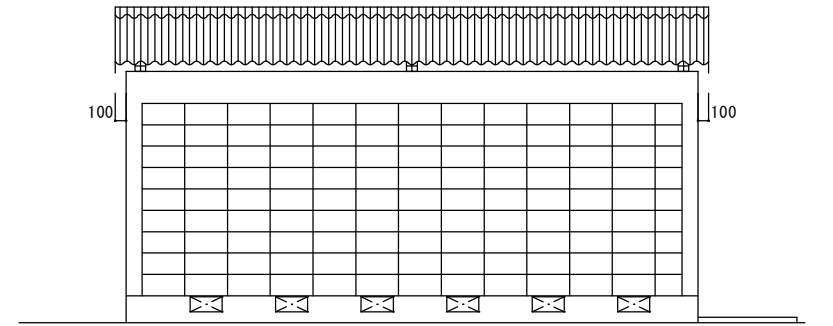
西立面図 1:50



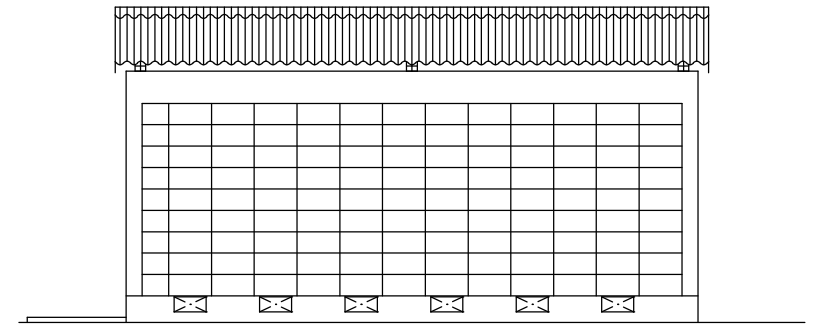
扉詳細図 1:50



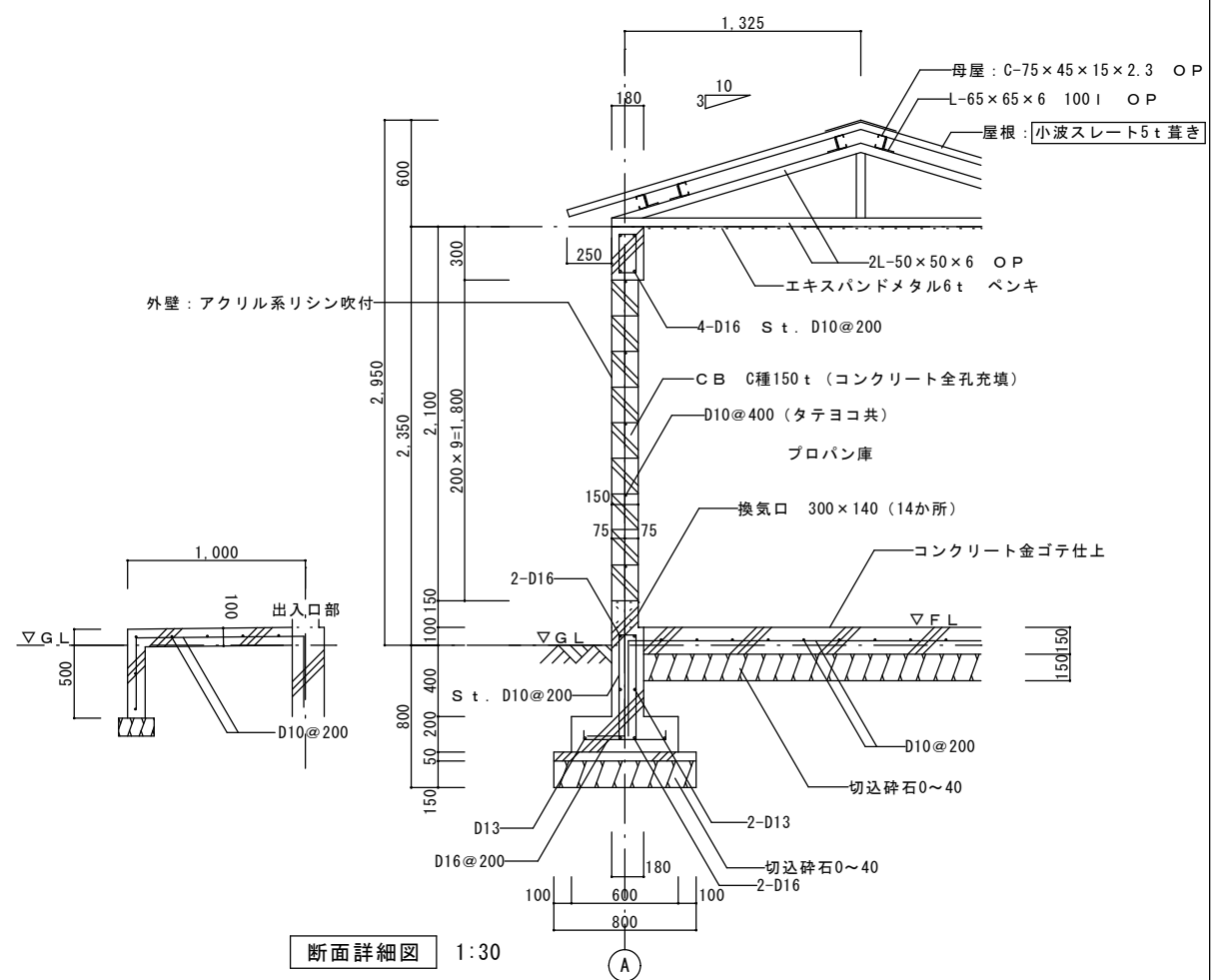
小屋伏図 1:50



南立面図 1:50



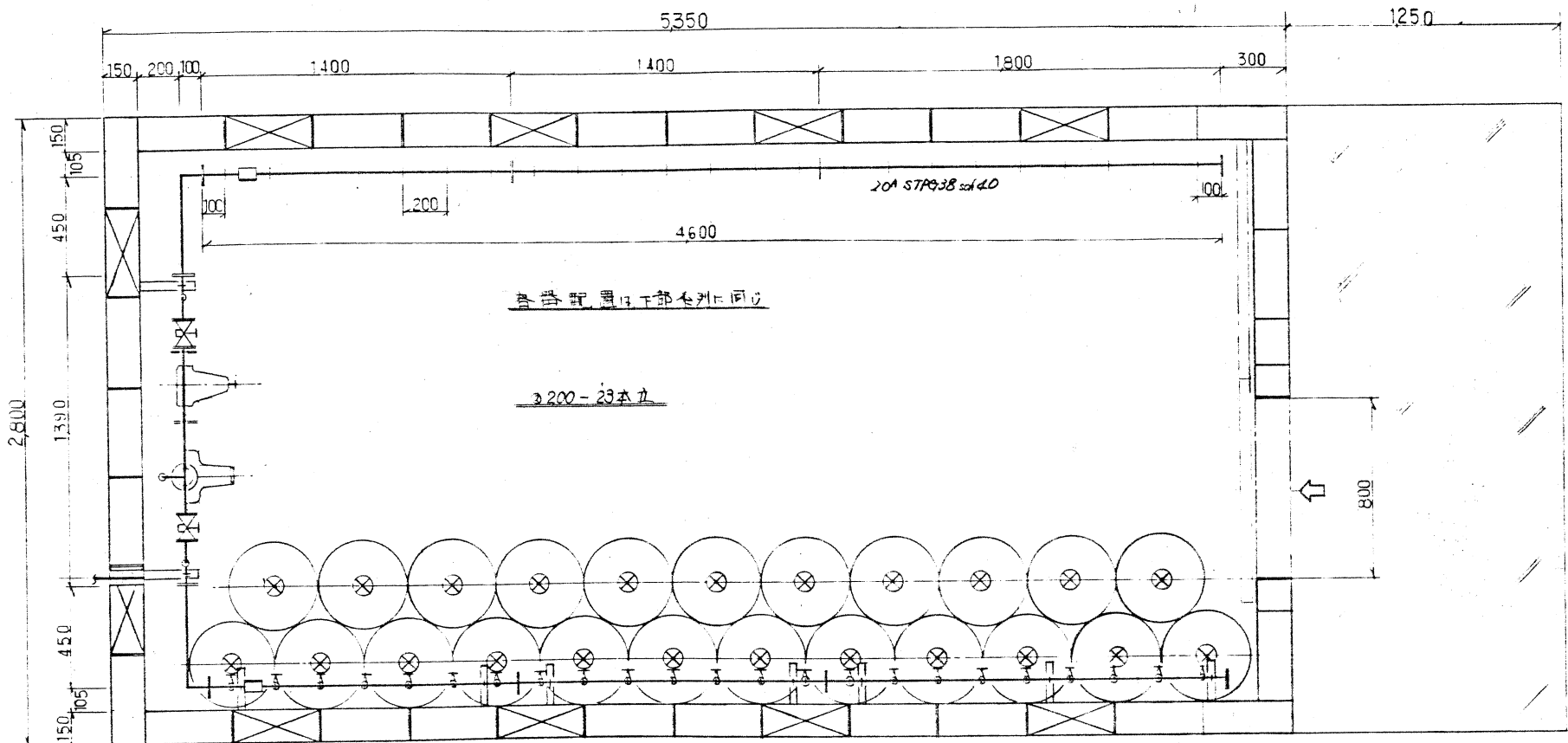
北立面図 1:50



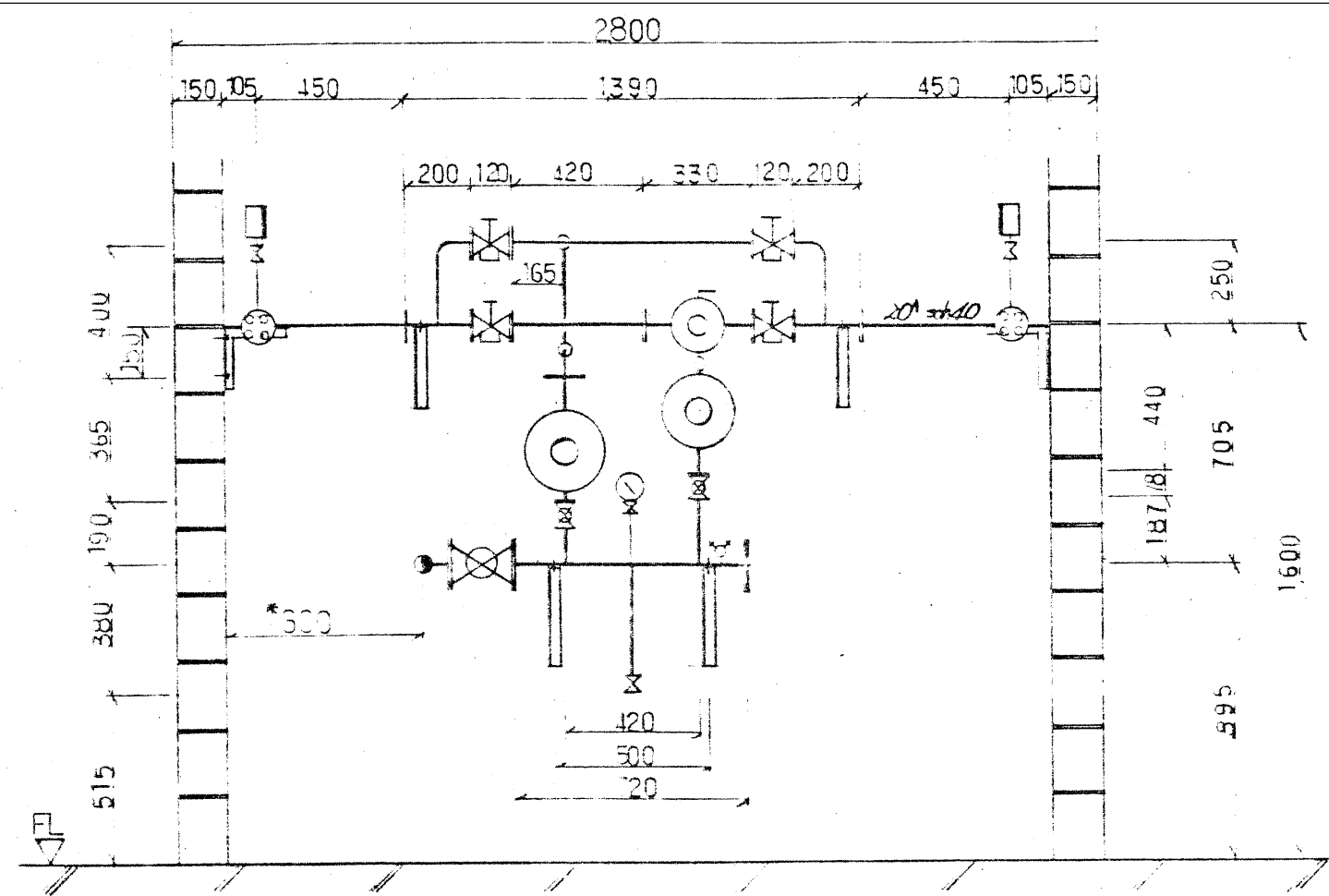
断面詳細図 1:30

※ [] で囲まれたものは石綿含有建材 (レベル3)
※【解体】この図面に記載されているもの全て

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）		
図面名称／縮尺	プロパン庫 各図 / A2 1:50 1:30		図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		A-14
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

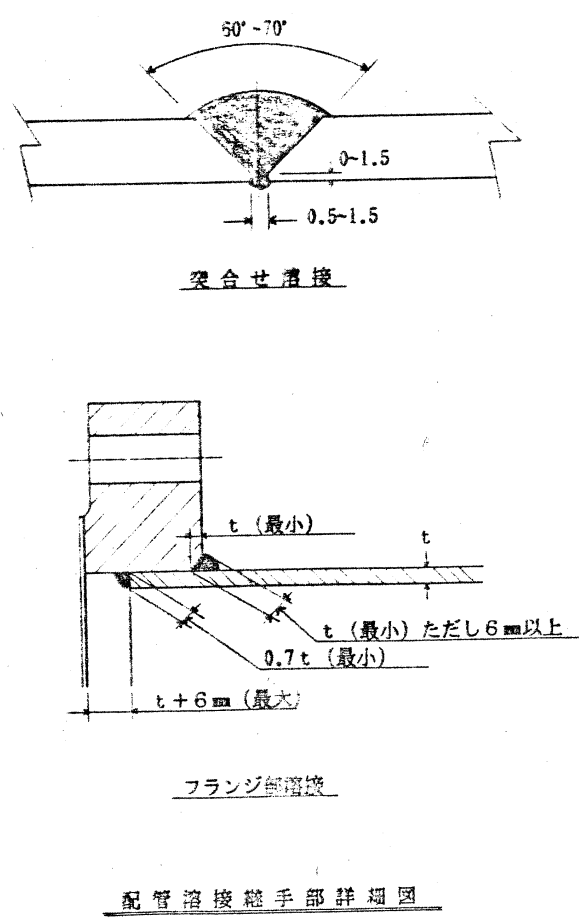
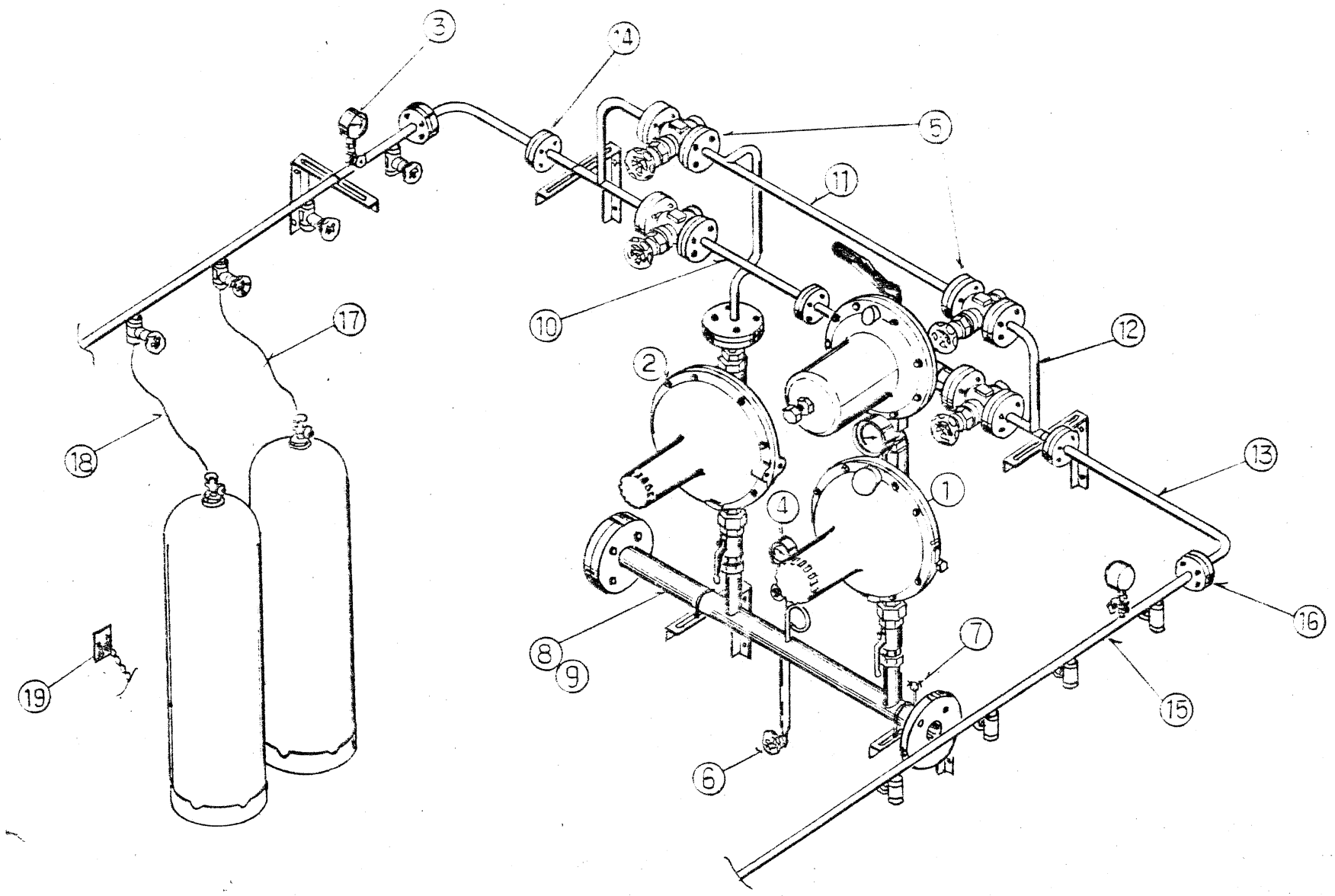


配管平面図



配管立面図

配管ライン	口径 (mm)	寸法 (mm)
高圧ガスライン	20A	1800

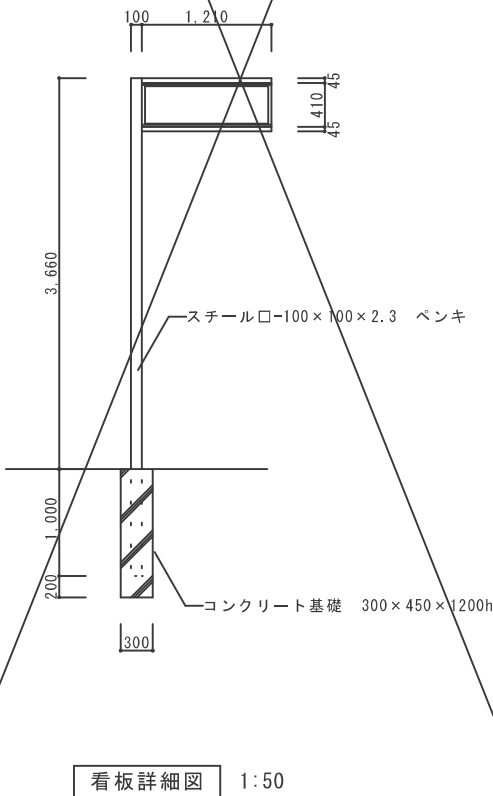
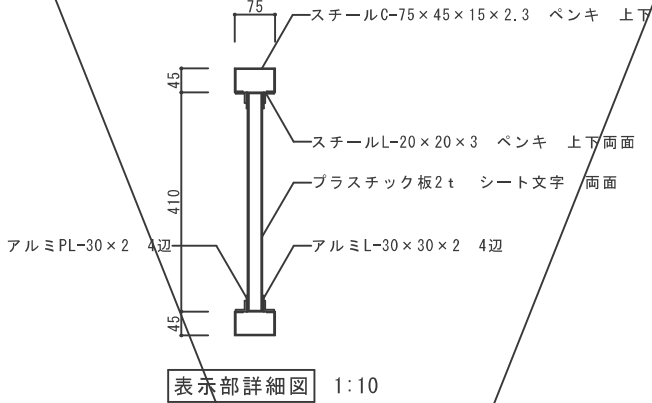
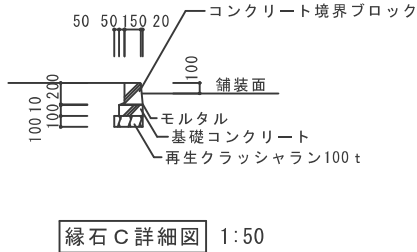
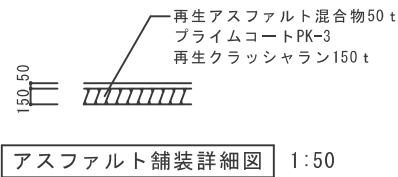
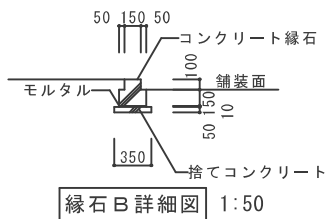
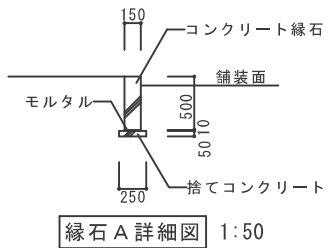
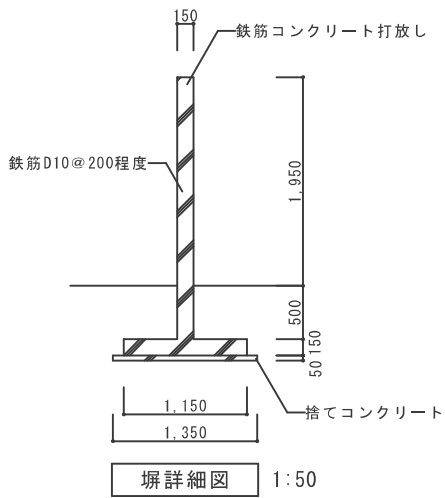
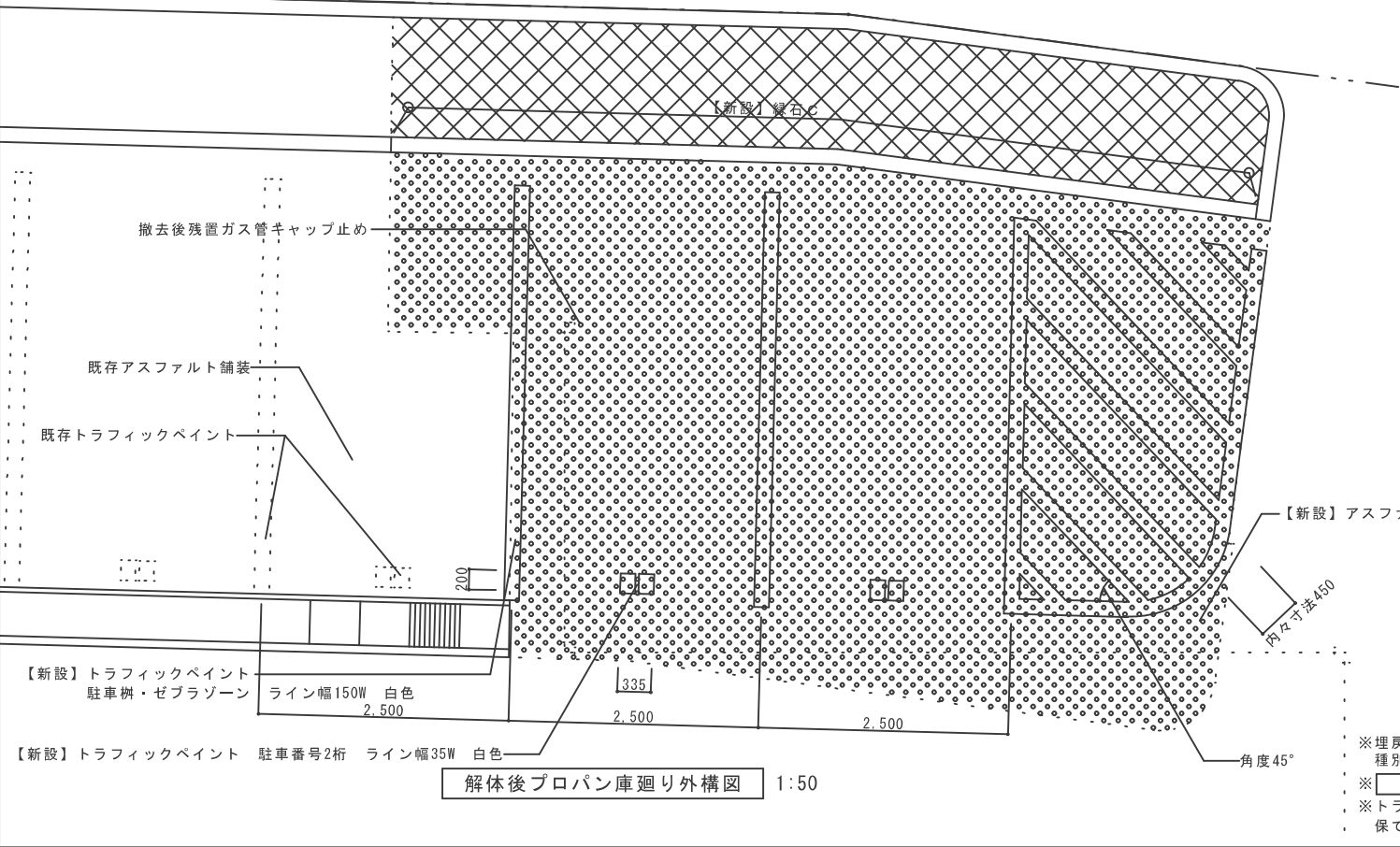
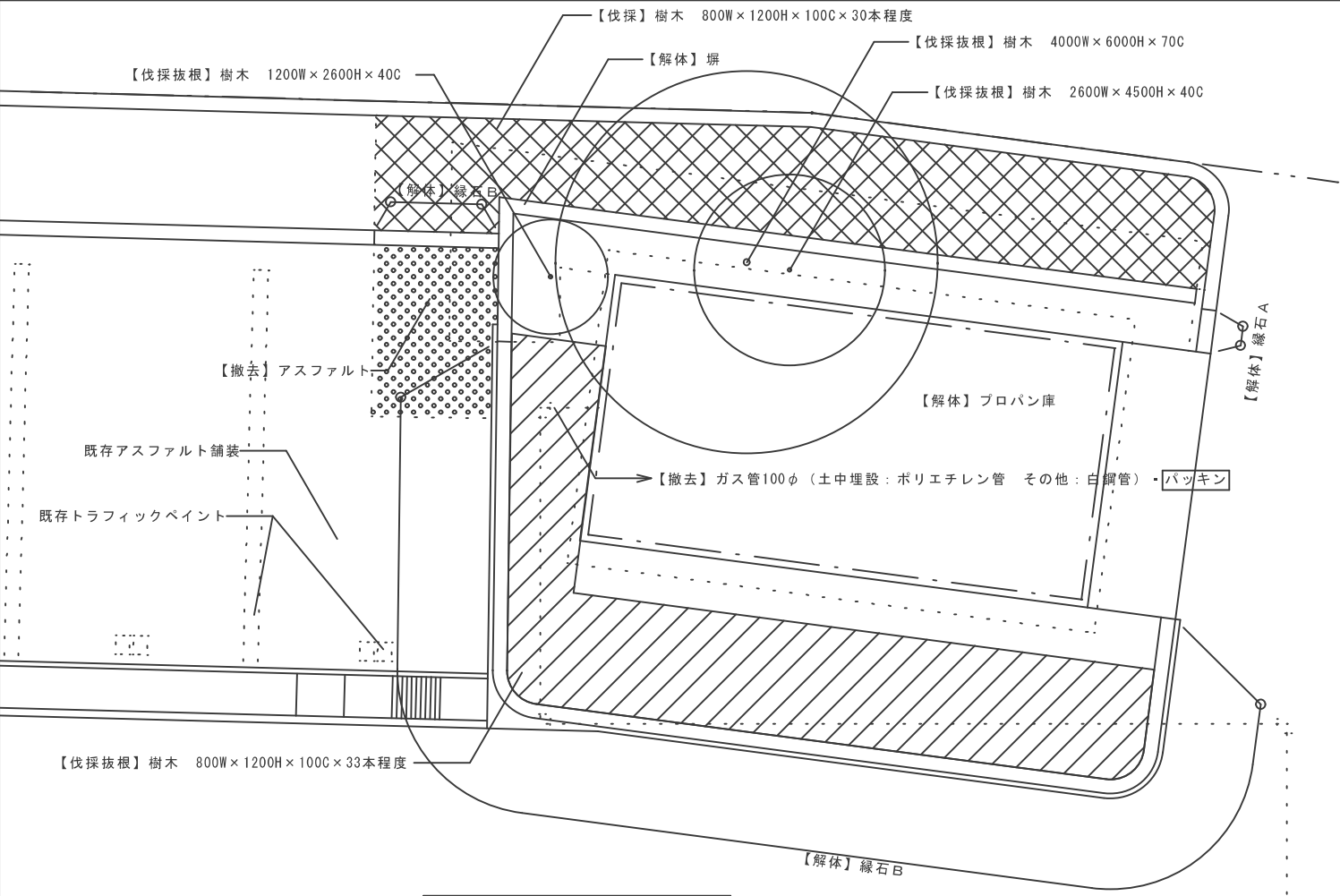


番号	品名	数量	備 考
1	AX-50K-50 8V-320付 自動切替式調整器 ユニタ式サーマルバルブ	1	50kg/h JIS 20K 3/8 フランジXRc1/2
2	GL-90-1 8V-320付 差込減圧式調整器 ユニタ式サーマルバルブ	1	70kg/h JIS 20K 1 1/2 フランジXRc1/2
3	35kg/cm ² 圧力計 ネット AT3/4×φ75	2	圧力計用レギュレータ・W-206Aストップバルブ 1個サイフォン管 (両端R1/2) STPG38 Sch80
4	1000mmAq 圧力計 ネット AT3/4×φ75	1	圧力計用レギュレータ・W-206Aストップバルブ 1個サイフォン管 (両端R1/2) STPG38 Sch80
5	D7-20F ストレナバルブ	4	JIS 20K 3/8 フランジ
6	IV-206A ストップバルブ	1	Rc3/4 プラグ付
7	G-923-12P 2口ホースコック	1	Rc3/4×φ9.5 ホースエンド
8	AJW-50-72 ユニタ式低圧集合管	1	JIS 10K 2 1/2 フランジ STPG38 Sch40
9	ユニタ式 低圧集合管 付属品一式	1	JIS 10K 2 1/2 両フランジ1 パッキン1 集合セット2 8・N・W4
10	AJL-42 ユニタ式高圧集合管 手	1	JIS 20K 3/8 フランジ STPG38 Sch80
11	AJT-75 ユニタ式高圧集合管 手	1	JIS 20K 3/8 フランジ STPG38 Sch80
12	AJT-20 ユニタ式高圧集合管 手	2	JIS 20K 3/8 フランジ STPG38 Sch80
13	AJL-45 ユニタ式高圧集合管 手	2	JIS 20K 3/8 フランジ STPG38 Sch80
14	ユニタ式 高圧集合管 付属品一式	1	フランジ用パッキン 3/8×13 1 1/2 8・N・W1/2×52 3/4 4 集合セット 2
15	PHW-20-14-F 薄板式高圧集合管 PHW-20-10-F 薄板式高圧集合管 (高圧ストップバルブ付 (選別))	4 2	23本立 2系用 (45本立) JIS 20K 3/8 フランジ STPG38 Sch80
16	PHW-20 付属品一式	1	JIS 20K 3/8 両フランジ2 パッキン8 集合セット12 8・N・W24
17	Ht-6-6 (H・S) 高圧集合ホース	24	φ6×600 POL×R1/2
18	Ht-6-10 (H・S) 高圧集合ホース	22	φ6×1000 POL×R1/2
19	ポンベチェーン・フック式	2	φ4.5×8 m

フロシート図 NOT

※パッキンの有無は図面記載の有無に関わらず、現場にてLPG集合装置全てを確認し、そのパッキンを撤去すること
パッキンは石綿含有建材 (レベル3)
※【解体】この図面に記載されているもの全て

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事 (三期工事)	
図面名称/縮尺	LPG集合装置 参考図	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-15
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	



※【解体】上記図に記載されている全てのもの

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）	
図面名称／縮尺	外構 各図 / A2 1:50 1:10	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-16
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）
（電気設備工事）

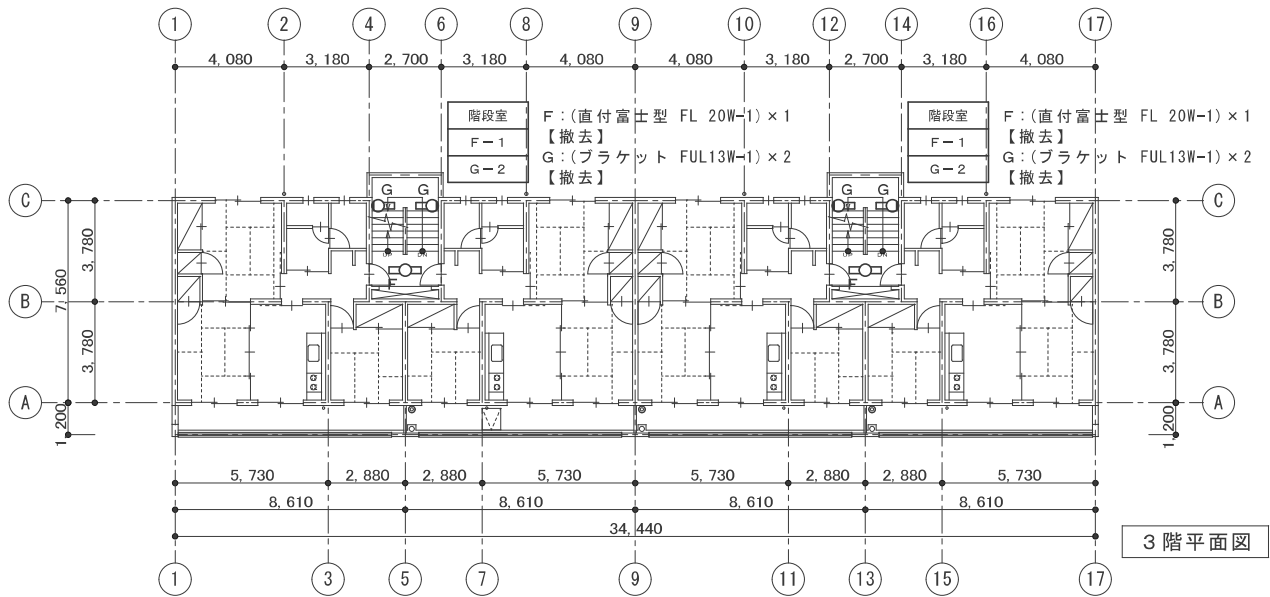
[illegible]

電気設備仕様書
1. 共通仕様
設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標仕」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標仕」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準図」という。）に準拠するものとし、優先順位は次による。
（1）質問回答書（（2）から（5）に対するもの）
（2）現場説明書
（3）特記仕様書
（4）図面及び設計書
（5）標仕、改修標仕及び標準図
2. 発生材の処理
・廃PCB等は関係法令により適切に処理し、施設管理者に引き渡すこと。 ・蛍光灯、水銀ランプ等の水銀を使用しているランプは工事監理指針等により適切に処理すること。

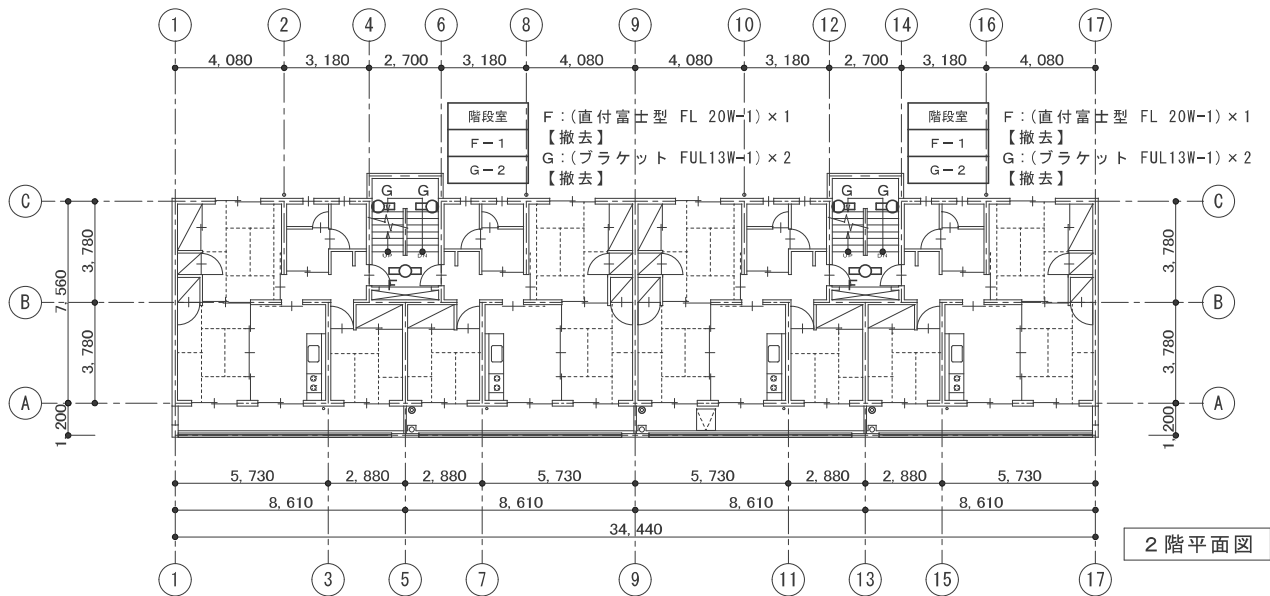
工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）		
図面名称／縮尺	図面リスト	A2 NO SCALE	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-00
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

撤去図

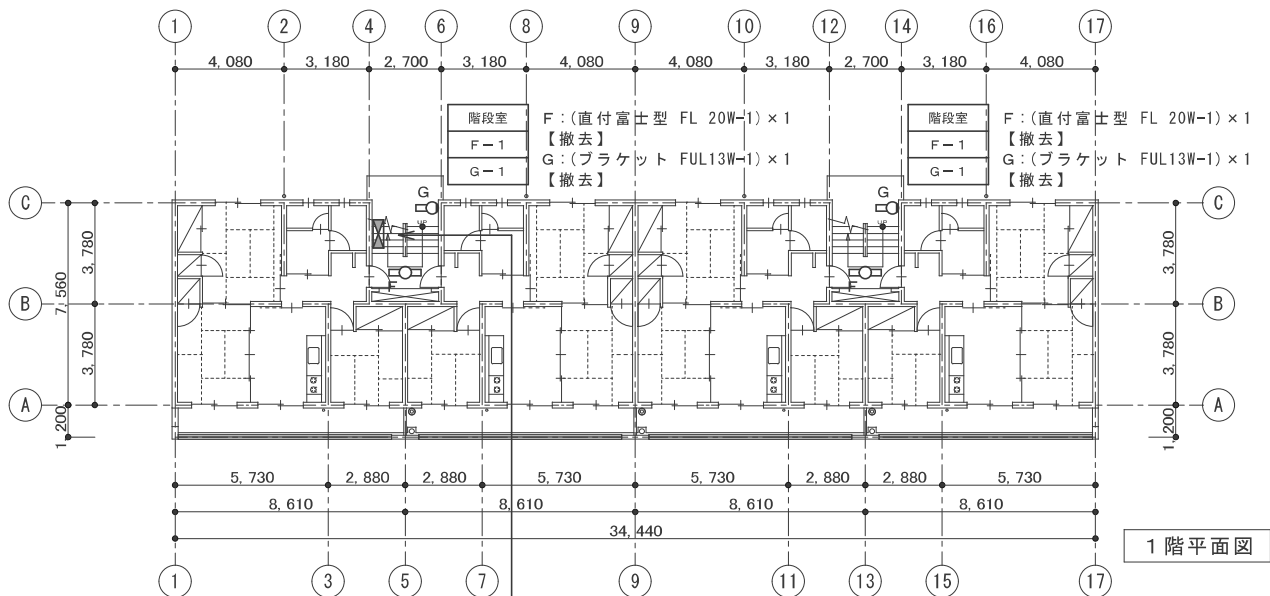
- 凡 例
- ※図中の点線器具は全て既設とする。
- ※図中の実線器具は全て撤去とする。
- ※図中撤去と記入されている器具は全て撤去する。
- ※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、必要な時は改修工事を行うこと。
- ※特記なき照明器具記号は下記による。
- ・撤去照明器具の記号は、各棟完成図に記載の記号です。



3階平面図

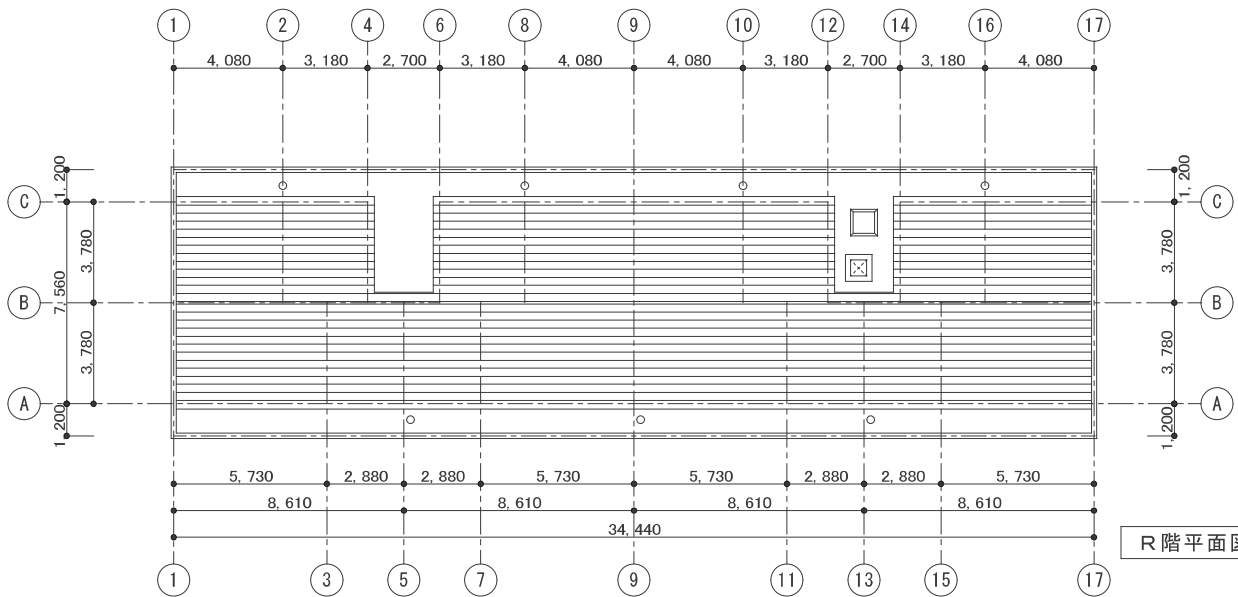


2階平面図

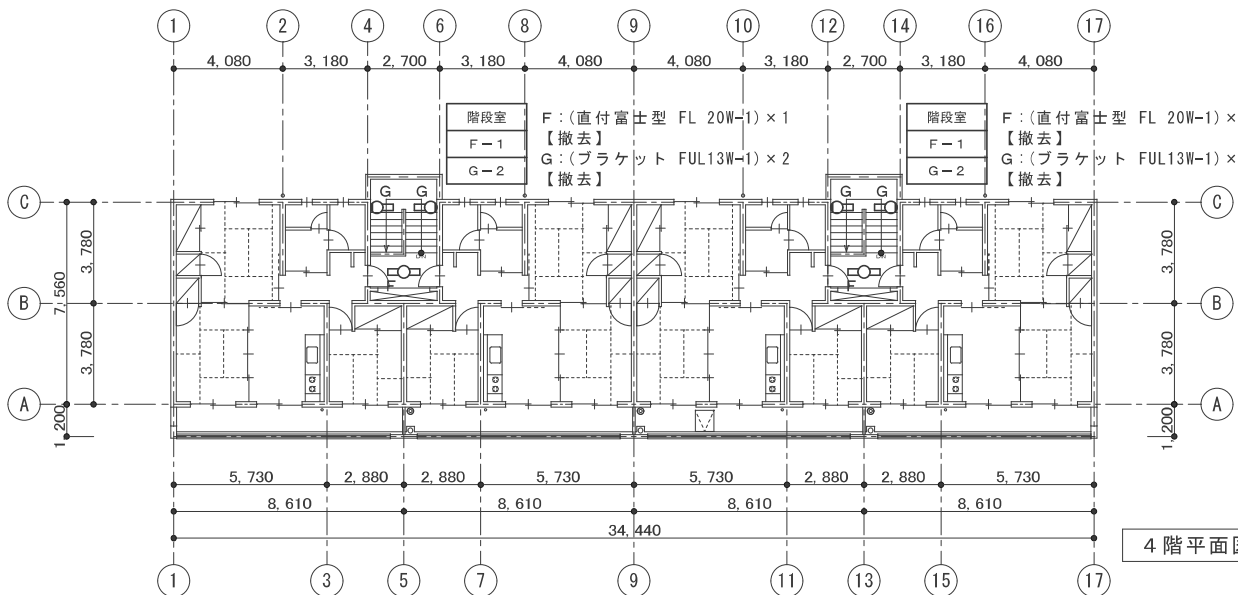


1階平面図

水道メータ集中検針盤 【撤去】
プランクプレート 【新設】



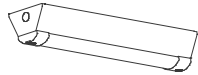
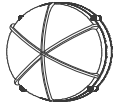
R階平面図



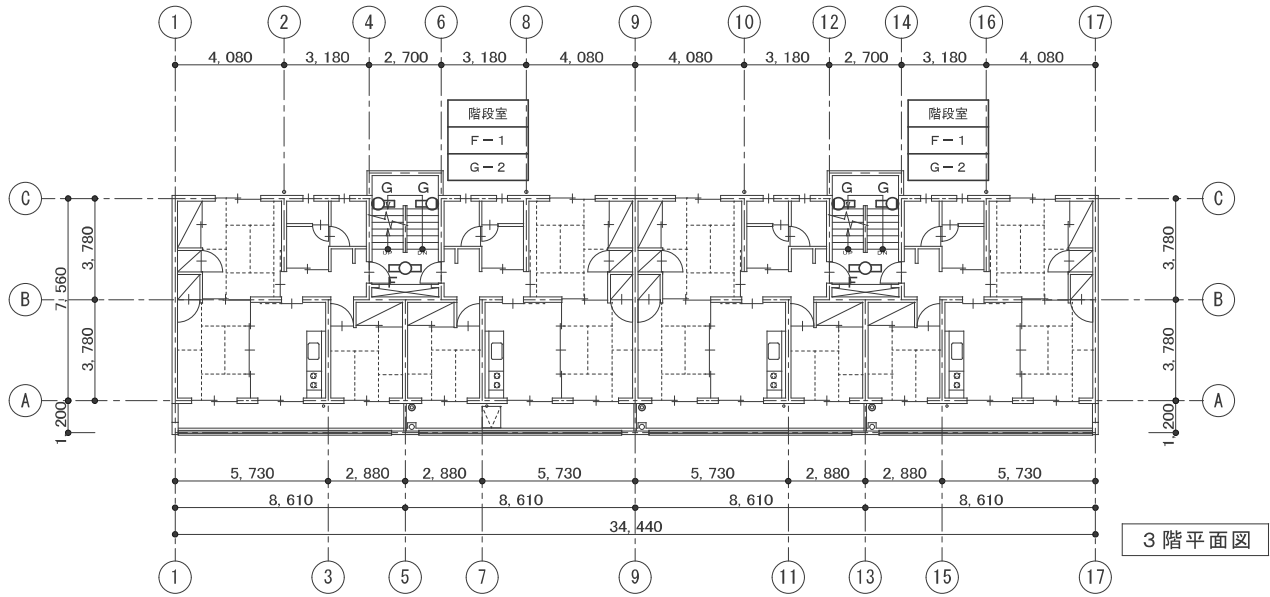
4階平面図

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）		
図面名称／縮尺	電灯設備 3号棟平面図 撤去	A2 1:200	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-0 1
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

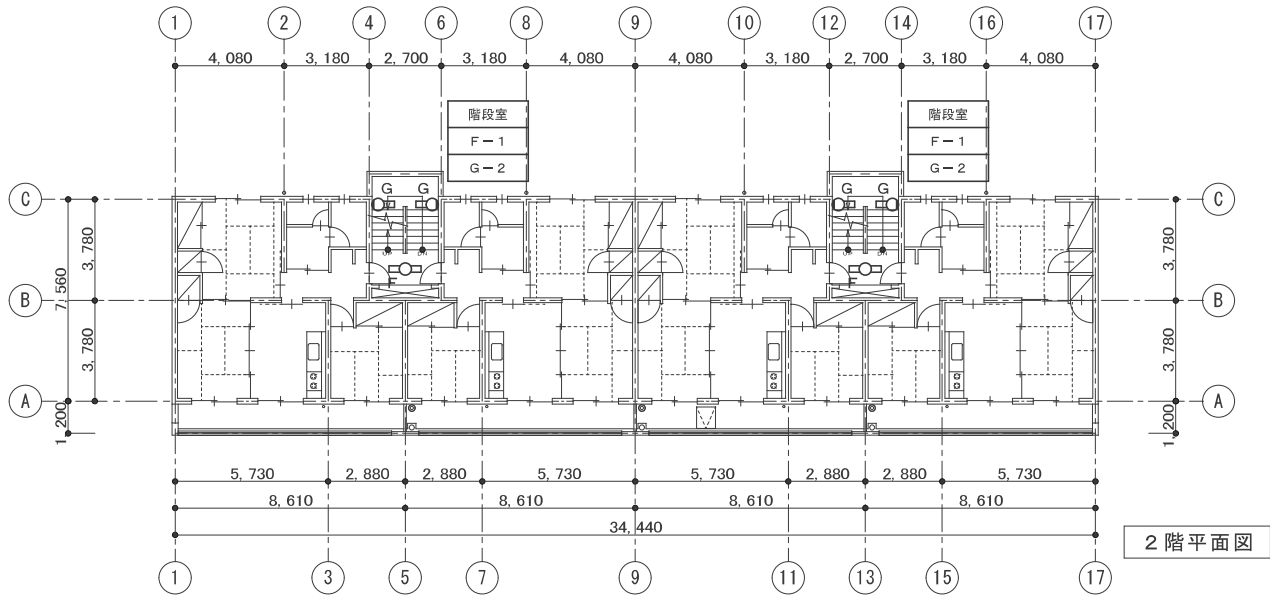
改修図

F	F	—	G	G	—
光源	LED20型	—	光源	LED(10.3W)	—
器具電圧	100～200V	—	器具電圧	100V	—
器具型式	直付型 W=120	—	器具型式	ブラケット	—
備考	800lmタイプ 光色昼白色 防湿・防雨型	—	備考	845lmタイプ 防湿・防雨型 型番：LDF9NHGX/C20/12/2	—
135.5lm/w (5.9W)			94.9lm/w (8.9W)		
					
【参考】LEKTW212084N-LS9同等品			【参考】LEDG85904+LDF9NHGX/C20/12/2同等品		

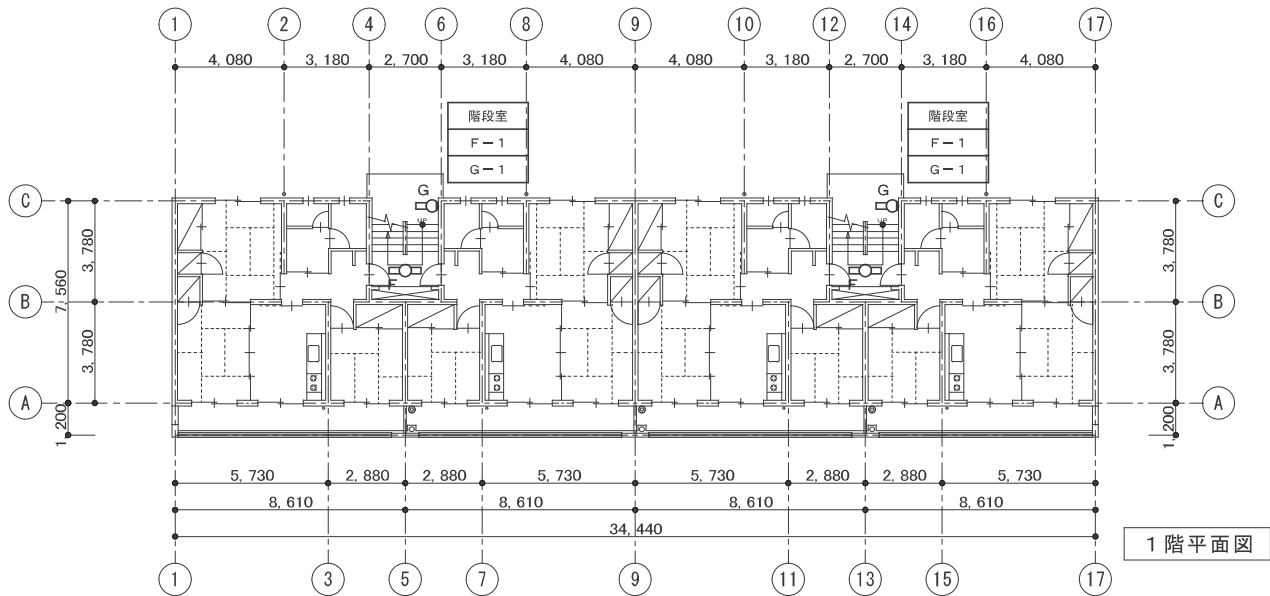
凡例
※図中の実線器具は全て新設とする。
※図中の点線器具は全て既設とする。
※機器交換・撤去に伴う既設配線切回しも行うこと。
※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、 必要時は改修工事を行うこと。



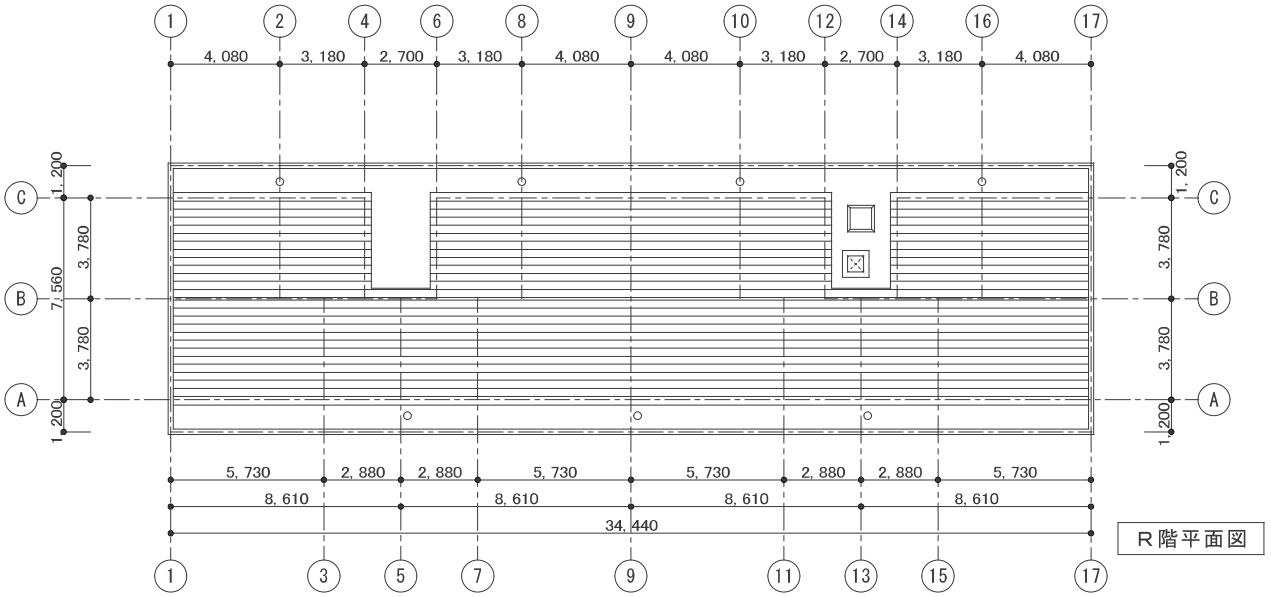
3階平面図



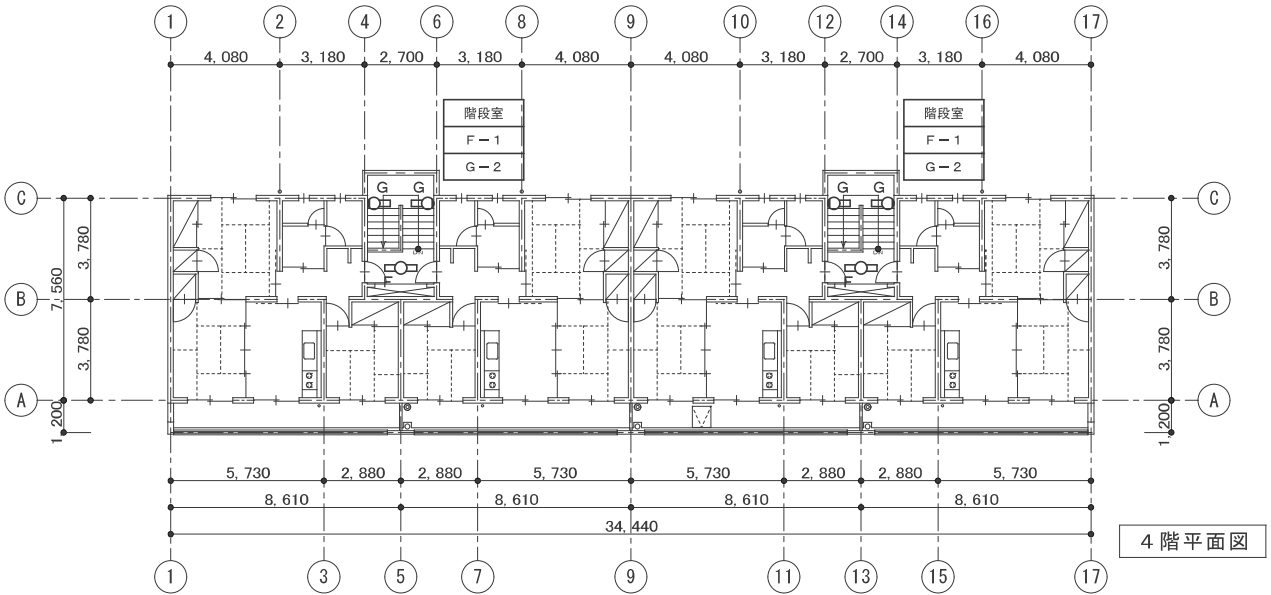
2階平面図



1階平面図



R階平面図

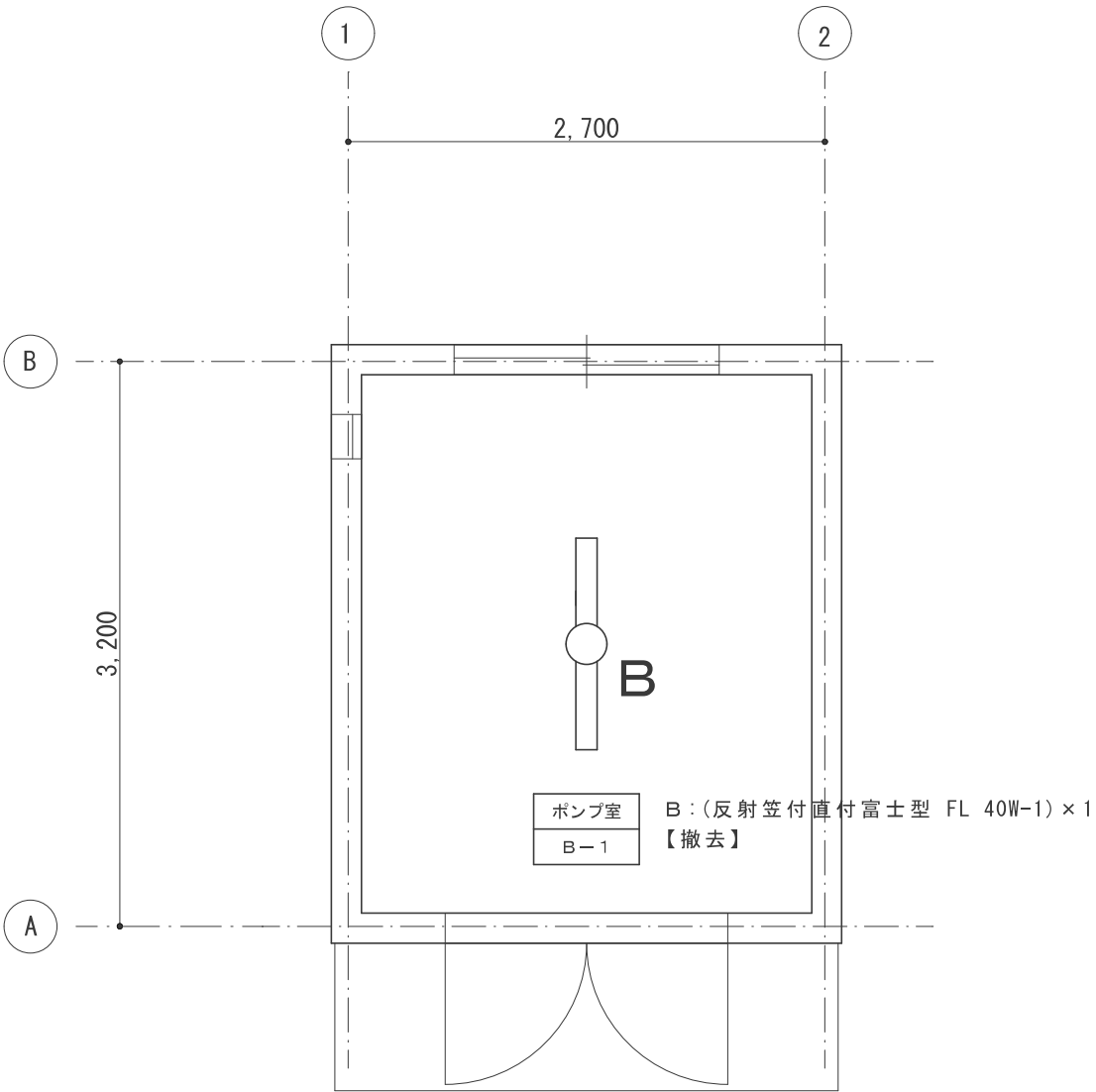


4階平面図

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（三期工事）		
図面名称／縮尺	電灯設備 3号棟平面図 改修 A2 1:200		図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-0 2
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

撤去図

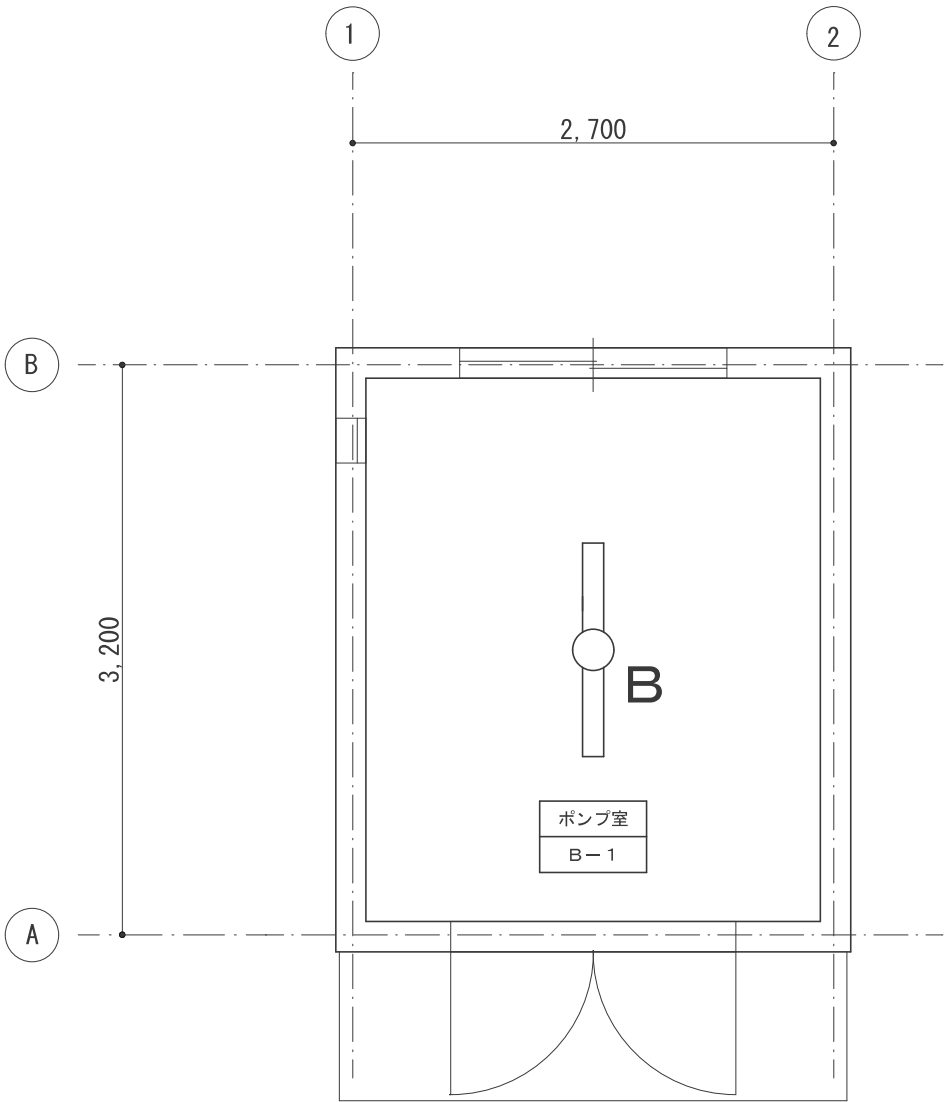
凡 例
※図中の点線器具は全て既設とする。
※図中の実線器具は全て撤去とする。
※図中撤去と記入されている器具は全て撤去する。
※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、必要な時は改修工事を行うこと。
※特記なき照明器具記号は下記による。
・撤去照明器具の記号は、各種完成図に記載の記号です。



改修図

B	B	—
光 源	L E D	—
器具電圧	1 0 0 ~ 2 4 2 V	—
器具型式	天井直付	—
備 考	2150 1mタイプ	—
	防水型	
150,2 lm/w (13, 0W)		(FL40W x 1相当)
【参考】LEXTW412204N-LS9 同等品		

凡 例
※図中の実線器具は全て新設とする。
※図中の点線器具は全て既設とする。
※機器交換・撤去に伴う既設配線切回しも行うこと。
※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、必要な時は改修工事を行うこと。



工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事 （三期工事）		
図面名称／縮尺	電灯設備 ポンプ室平面図 撤去・改修 A2 1:30	図 面 番 号	
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-0 3
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		